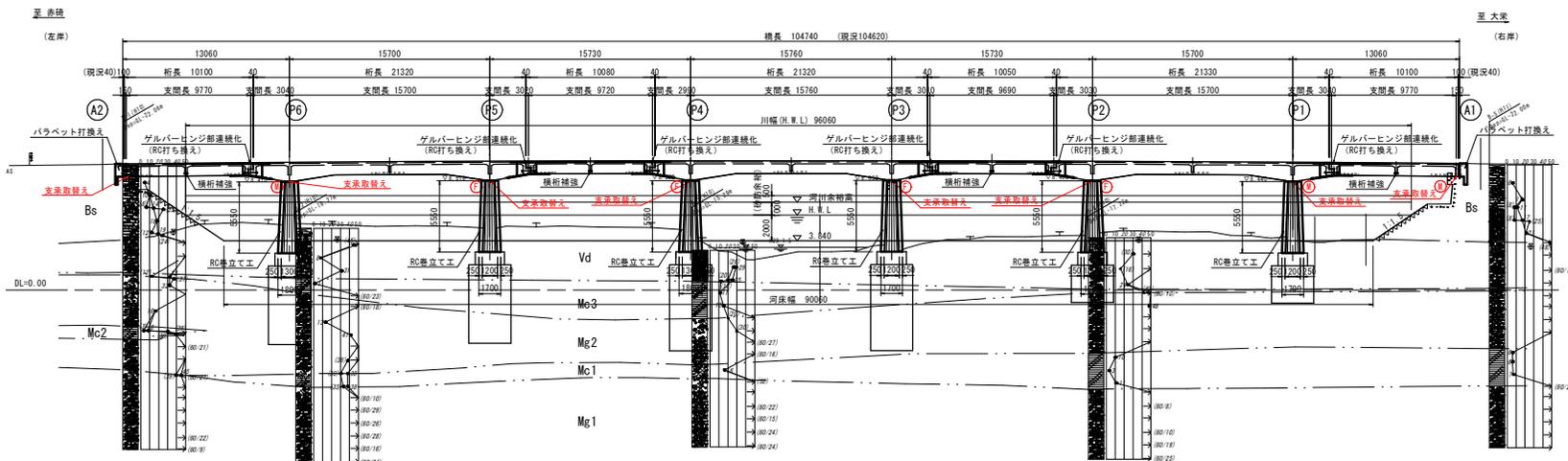
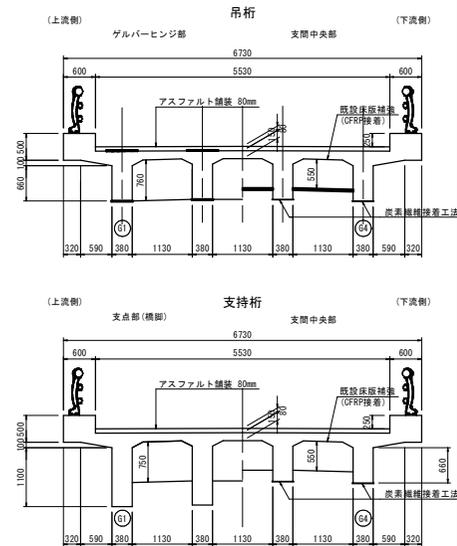


橋梁補強一般図

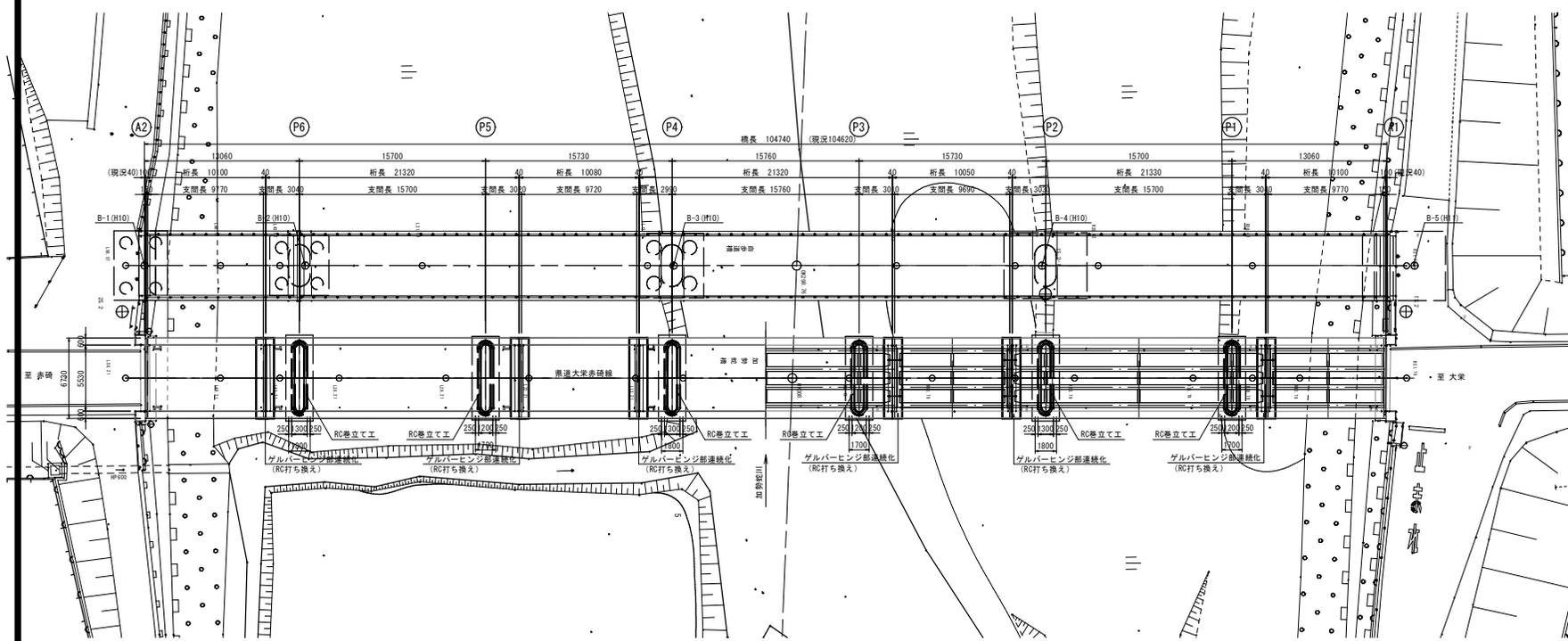
側面図 S=1:200



断面図 S=1:50



平面図 S=1:200



橋梁諸元	
路線名	県道大赤赤碓線
橋梁名	加勢蛇橋
橋梁形式	7径間ガルバーRC桁橋
竣工年次	昭和12年(1937年)
橋格	既設橋 二等橋(自動車重量9t)
改良後	B活荷重
橋長	104.740m(現況104.620m)
支間長	(9770m+3040m+15700m)+2×3020m+9720m+2990m+15760m+3010m+9690m+3030m
幅員	全幅員: 6.730m(有効5.530m)
斜角	90° 00' 00"
平面線形	R=∞
下部工形式	橋台形式 重方式橋台(固定)
	橋脚形式 型式橋脚
基礎形式	ケーソン基礎
使用材料	コンクリート Ck=21W/mm ²
既設	鉄筋 SR235相当
橋の重要度	A種の橋
適用示方書	既設橋 大正15年(1926年) 道路構造に関する補則案
	補強 道路橋示方書(平成24年)

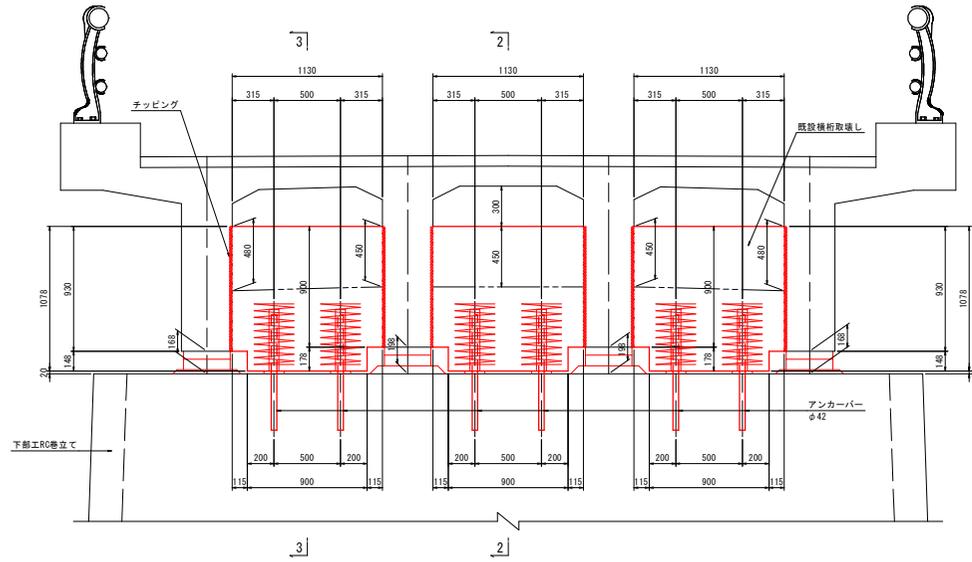
【注記】
 本図面上部工および橋脚・橋台の寸法は既存図面及び現地計測を基に作成。
 施工にあつては事前に現地実測によって図面と照合を行うこと。

路線名	県道大赤赤碓線		
橋梁名	県道大赤赤碓線(加勢蛇橋)		
橋梁補修工事(3工区)(補助)			
図名	橋梁補強一般図		
位置	鳥取県琴浦町逢東～中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 1		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

横桁増厚構造図 (その2) S=1:20

P1 橋脚

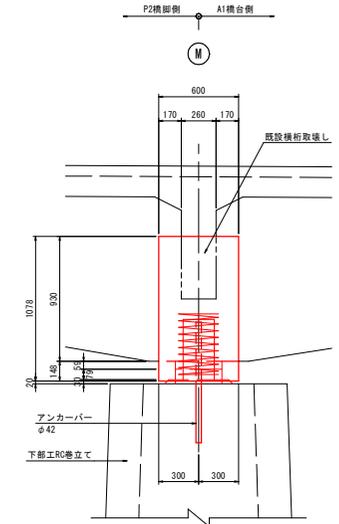
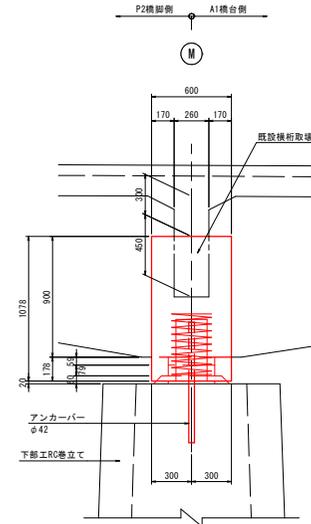
正面図
1 - 1



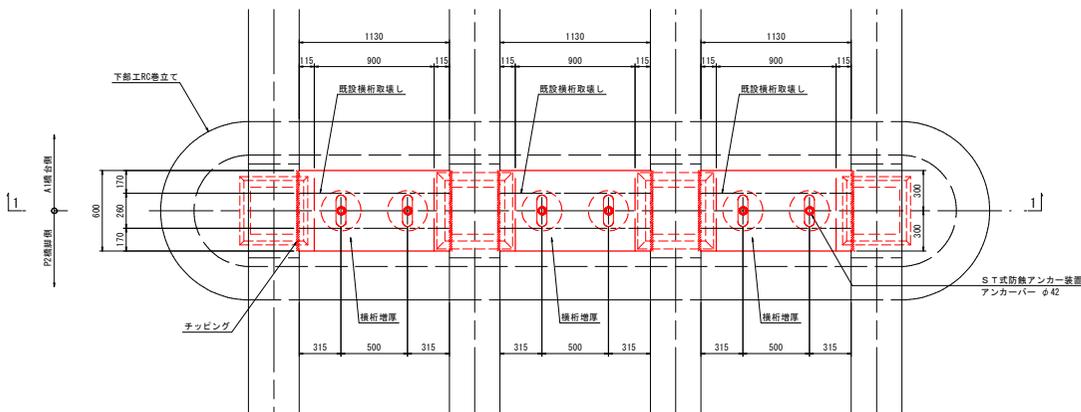
断面図

2 - 2

3 - 3



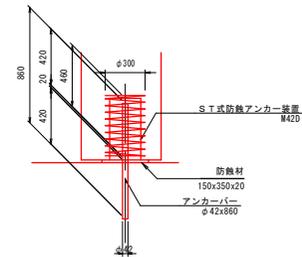
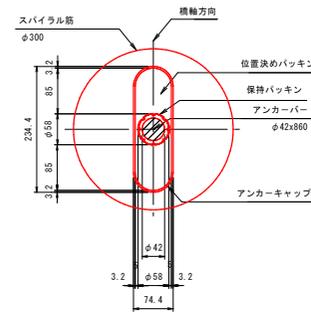
平面図



アンカーバー詳細図

アンカーキャップ S=1:3

アンカー取付図 S=1:20



1. 細部寸法は、現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
2. コンクリート削孔は、鉄筋探査により既設鉄筋の位置を確認し、切断しないように施工すること。
3. 新設部と既設部との接合面には、既設側のテッピングを十分行うこと。
4. 既設部のコンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ である。
5. 新設部の鉄筋は、SD345としコンクリート強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ とする。

材 料 表 (可動部)

名称	寸法	材質	単位	数量	備考
S T 式防蝕アンカー装置	M420	S350N SS400 CRスポンジ 合成ゴム、SR235	組	6	ST-SGN12
防蝕材	150x350x20	CRスポンジ	枚	6	

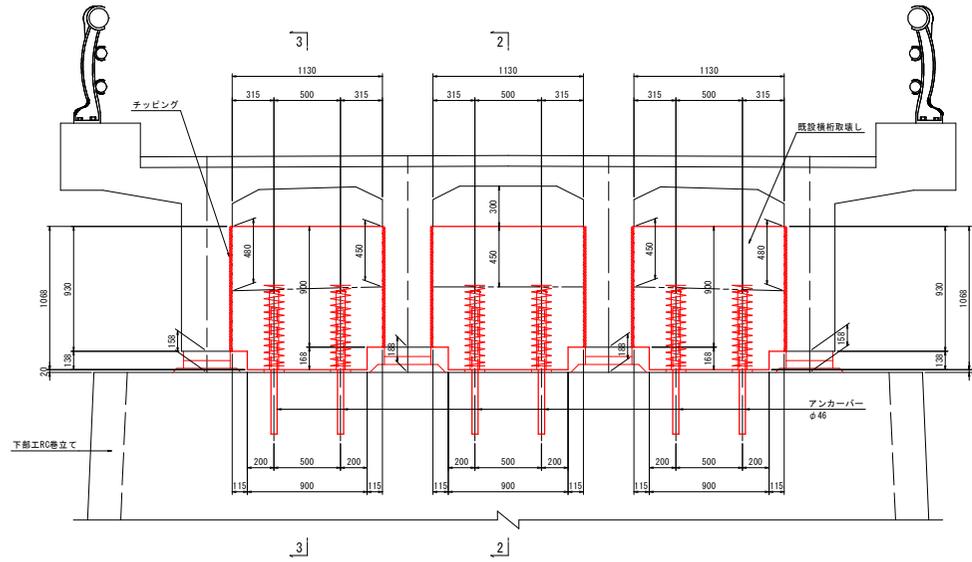
※ 防蝕アンカーのアンカーバー本体はST-SGN12とし、可動部アンカーキャップは連結めっきとする。

路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線(加勢蛇橋) 橋梁補修工事(3工区)(補助)		
図名	横桁増厚構造図(その2)		
位置	鳥取県琴浦町逢東~中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 3		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

横桁増厚構造図 (その3) S=1:20

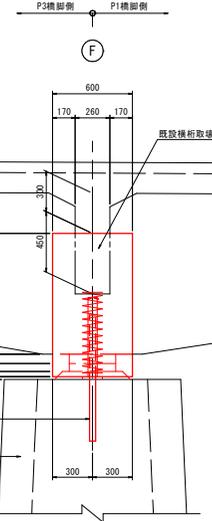
P2橋脚

正面図
1-1

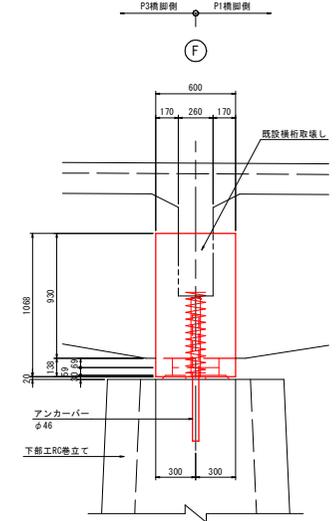


断面図

2-2



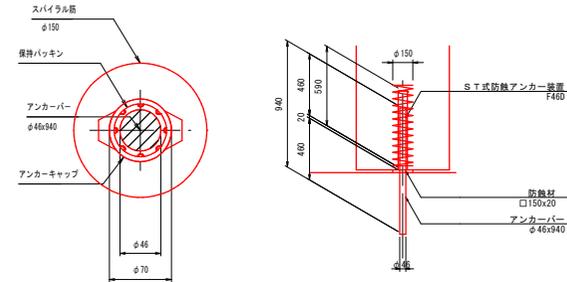
3-3



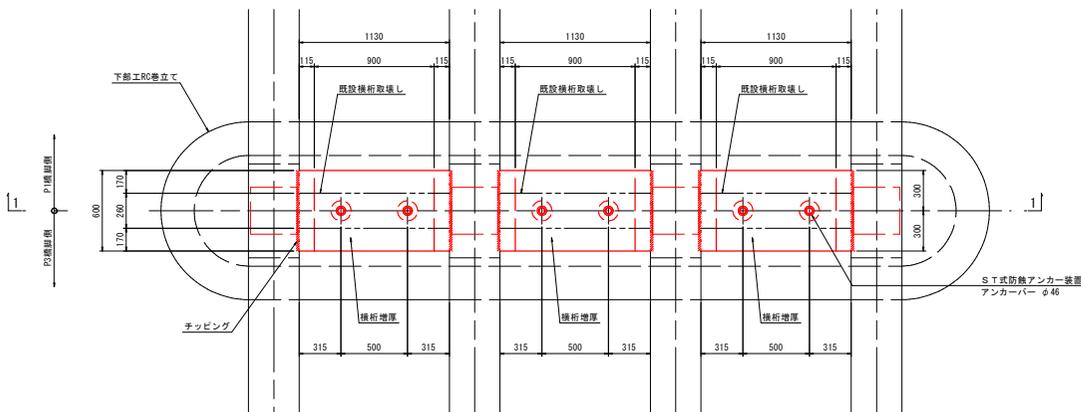
アンカーバー詳細図

アンカーキャップ S=1:3

アンカー取付図 S=1:20



平面図



- 注)
1. 細部寸法は、現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
 2. コンクリート削孔は、鉄筋探査により既設鉄筋の位置を確認し、切断しないように施工すること。
 3. 新設部と既設部との接合面には、既設側のチップングを十分行うこと。
 4. 既設部のコンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ である。
 5. 新設部の鉄筋は、SD345としコンクリート強度は $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ とする。

材 料 表 (固定部)

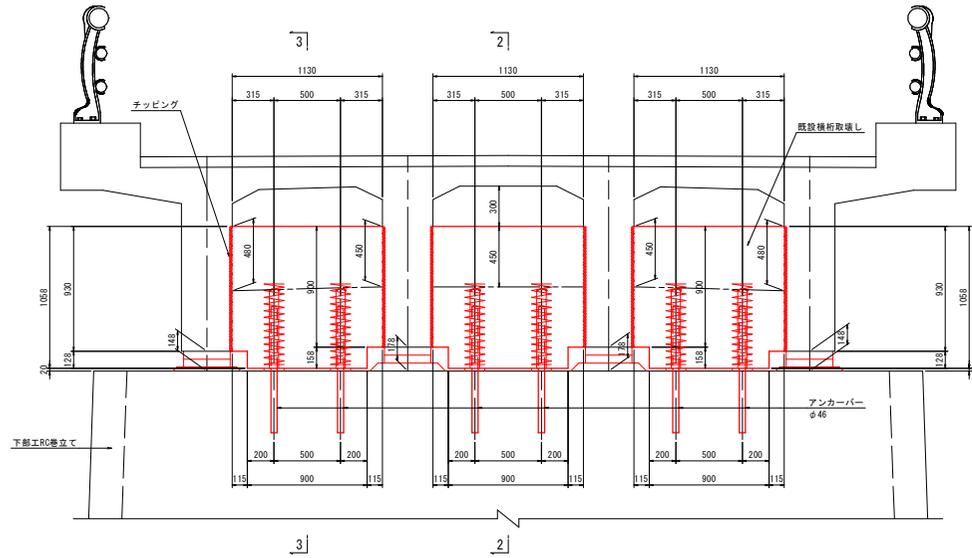
名 称	寸 法	材 質	単 位	数 量	備 考
S T 式防熱アンカー設置	F46D	S35GN、ポリエチレン、合成ゴム、SR235	組	6	ST-SGN12
防 熱 材	□150x20	CRスポンジ	枚	6	

路線名	県道大栄赤碓線		
橋梁補修工事(3工区)(補助)	県道大栄赤碓線(加勢蛇橋)		
図 名	横桁増厚構造図(その3)		
位 置	鳥取県琴浦町逢東～中尾		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 35 葉中の内 4		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

横桁増厚構造図 (その4) S=1:20

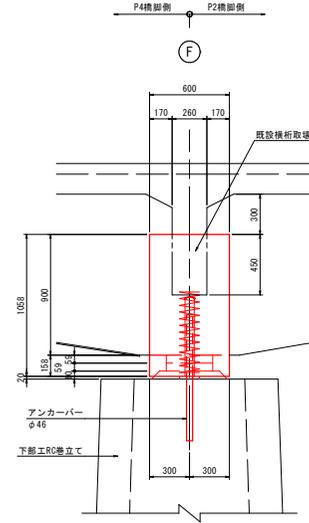
P3 橋脚

正面図
1 - 1

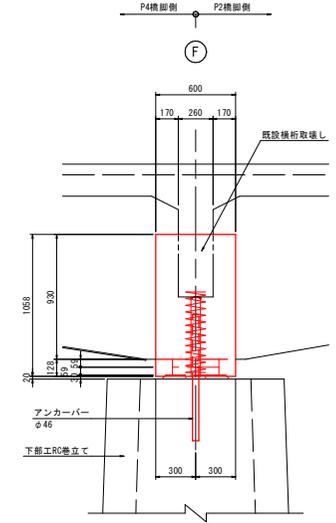


断面図

2 - 2



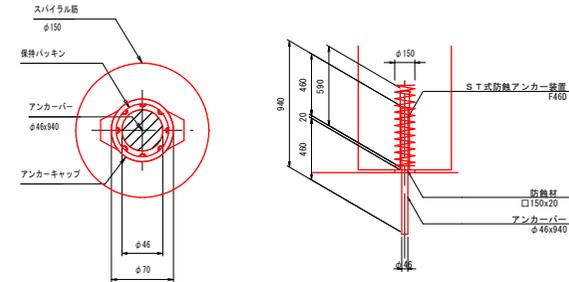
3 - 3



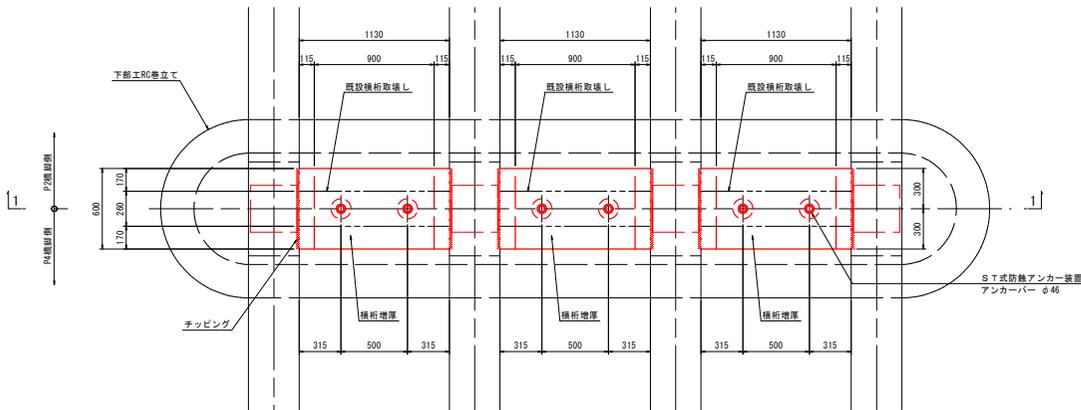
アンカーバー詳細図

アンカーキャップ S=1:3

アンカー取付図 S=1:20



平面図



- 注) 1. 細部寸法は、現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
 2. コンクリート削孔は、鉄筋探査により既設鉄筋の位置を確認し、切断しないように施工すること。
 3. 新設部と既設部との接合面には、既設側のチップングを十分行うこと。
 4. 既設部のコンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ である。
 5. 新設部の鉄筋は、SD345としコンクリート強度は $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ とする。

材 料 表 (固定部)

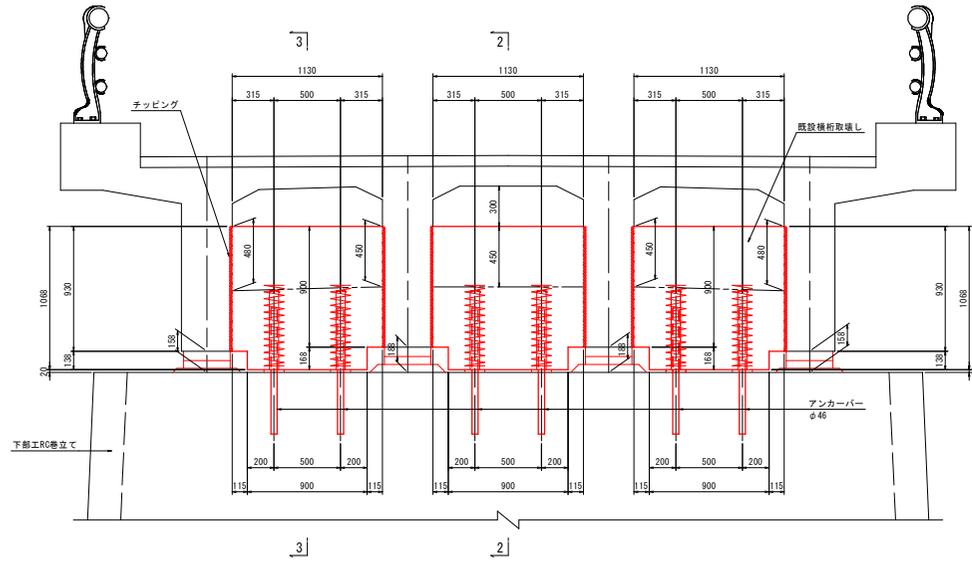
名 称	寸 法	材 質	単 位	数 量	備 考
S T 式防蝕アンカー設置	F460	S35GN、ポリエチレン、合成ゴム、SR235	組	6	ST-SGN12
防 蝕 材	□150x20	CRスポンジ	枚	6	

路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線(加勢蛇橋)橋梁補修工事(3工区)(補助)		
図 名	横桁増厚構造図(その4)		
位 置	鳥取県琴浦町逢東~中尾		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 35 葉中の内 5		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

横桁増厚構造図 (その5) S=1:20

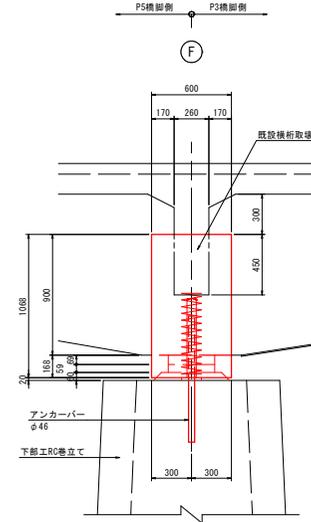
P4 橋脚

正面図
1 - 1

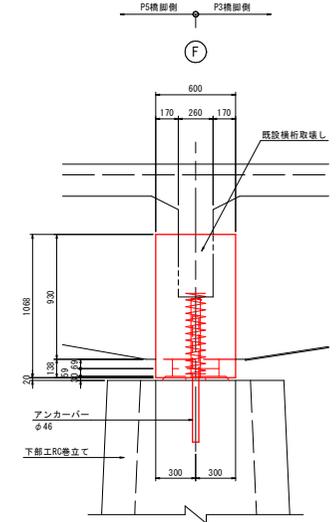


断面図

2 - 2



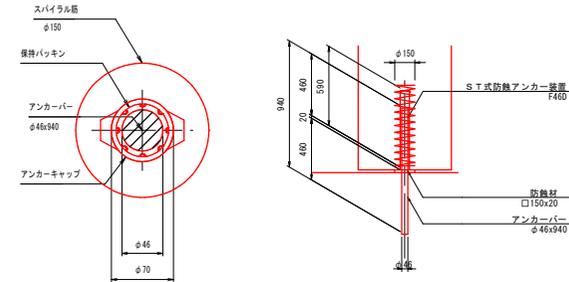
3 - 3



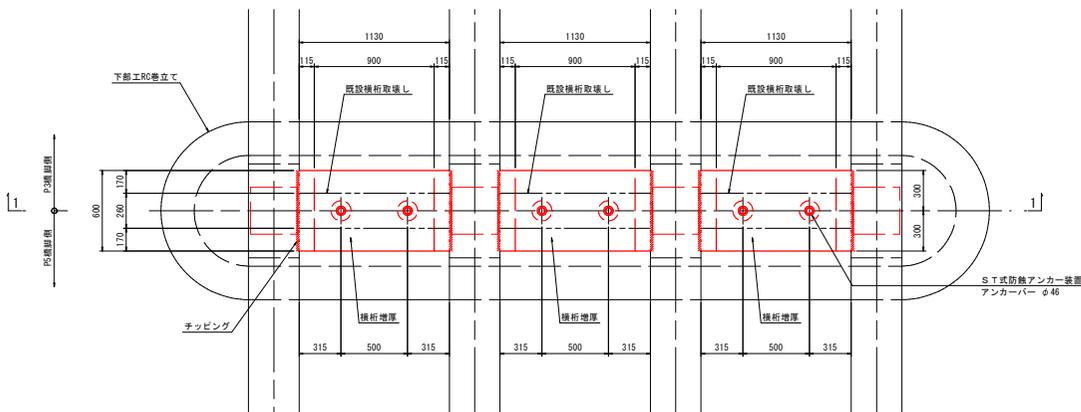
アンカーバー詳細図

アンカーキャップ S=1:3

アンカー取付図 S=1:20



平面図



- 注) 1. 細部寸法は、現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
 2. コンクリート削孔は、鉄筋探査により既設鉄筋の位置を確認し、切断しないように施工すること。
 3. 新設部と既設部との接合面には、既設側のチッピングを十分行うこと。
 4. 既設部のコンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ である。
 5. 新設部の鉄筋は、SD345としコンクリート強度は $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ とする。

材 料 表 (固定部)

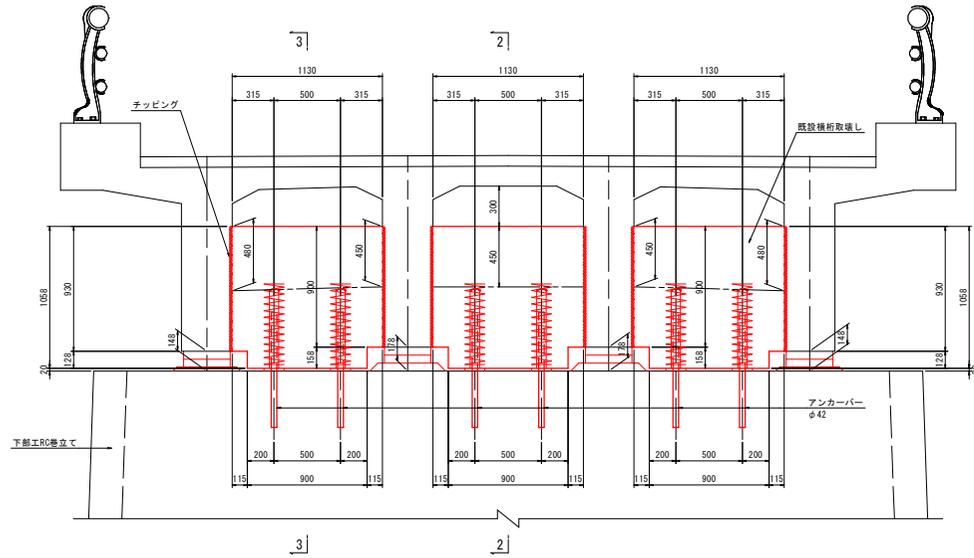
名称	寸法	材質	単位	数量	備考
S T式防蝕アンカー装置	F460	S35GN、ポリエチレン、合成ゴム、SR235	組	6	ST-SGN12
防蝕材	□150x20	CRスポンジ	枚	6	

路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線 (加勢蛇橋) 橋梁補修工事 (3工区) (補助)		
図名	横桁増厚構造図 (その5)		
位置	鳥取県琴浦町逢東～中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 6		
令和 7 年度施行	鳥取県		
	鳥取県中部総合事務所県土整備局		

横桁増厚構造図 (その6) S=1:20

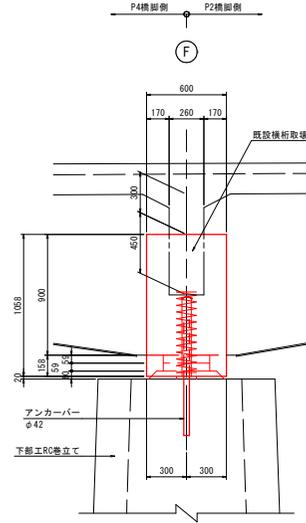
P5 橋脚

正面図
1 - 1

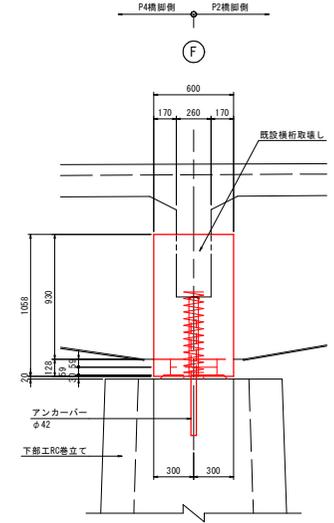


断面図

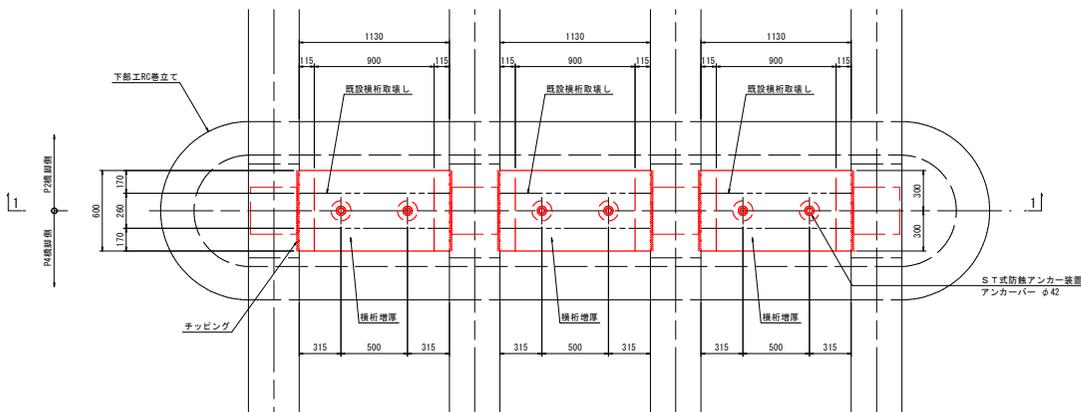
2 - 2



3 - 3



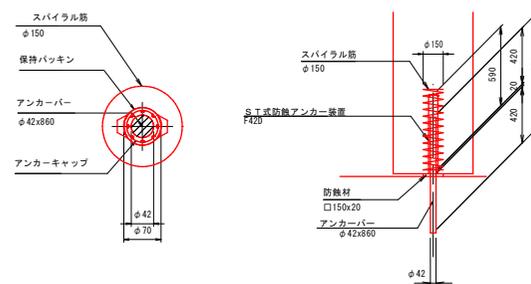
平面図



アンカーバー詳細図

アンカーキャップ S=1:3

アンカー取付図 S=1:20



1. 細部寸法は、現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
2. コンクリート削孔は、鉄筋探査により既設鉄筋の位置を確認し、切断しないように施工すること。
3. 新設部と既設部との接合面には、既設側のチッピングを十分行うこと。
4. 既設部のコンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ である。
5. 新設部の鉄筋は、SD345としコンクリート強度は $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ とする。

材 料 表 (固定部)

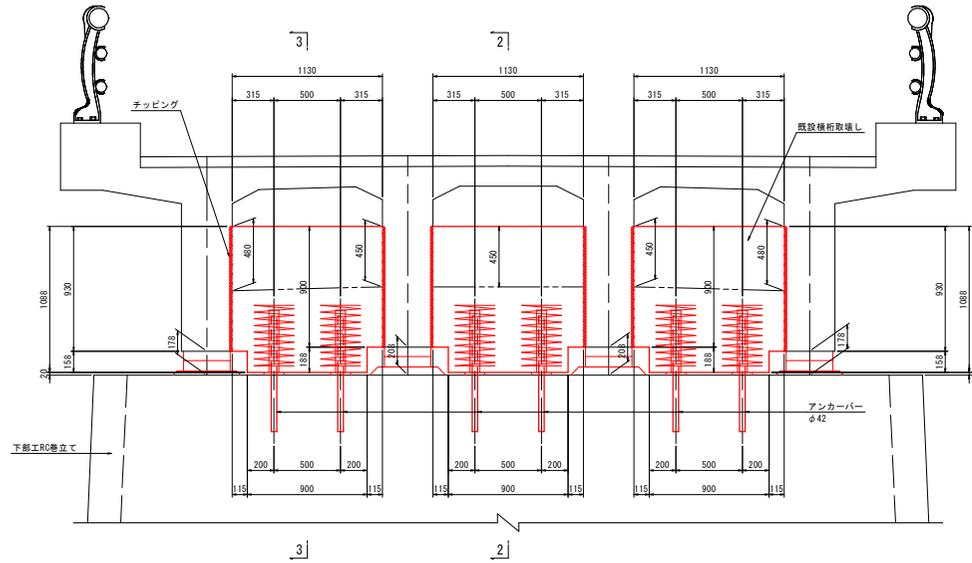
名 称	寸 法	材 質	単 位	数 量	備 考
S T式防蝕アンカー装置	F42D	S350N、ポリエチレン、合成ゴム、SR235	組	6	ST-SGN12
防 蝕 材	□150x20	CRスポンジ	枚	6	

路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線(加勢蛇橋)橋梁補修工事(3工区)(補助)		
図 名	横桁増厚構造図(その6)		
位 置	鳥取県琴浦町逢東~中尾		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 35 葉中の内 7		
令和 7 年度施行	鳥 取 県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

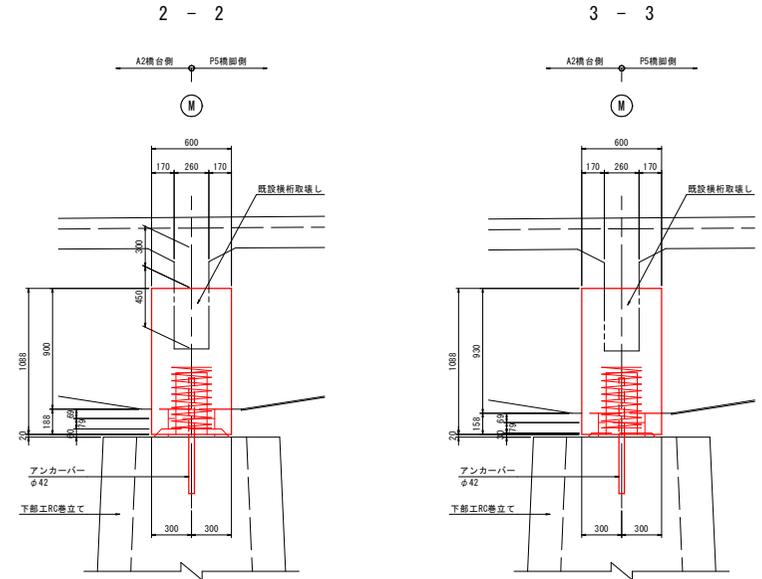
横桁増厚構造図 (その7) S=1:20

P 6 橋脚

正面図
1 - 1

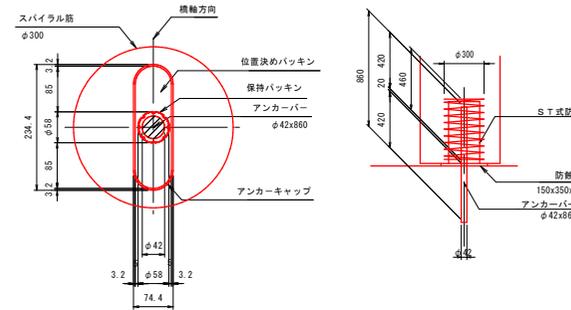


断面図



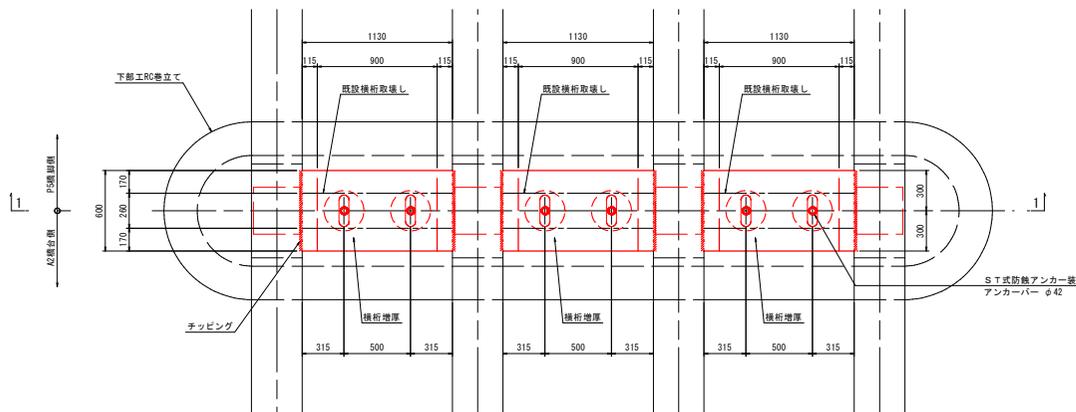
アンカーバー詳細図

アンカーキャップ S=1:3 アンカー取付図 S=1:20



- 注)
1. 細部寸法は、現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
 2. コンクリート削孔は、鉄筋探査により既設鉄筋の位置を確認し、切断しないように施工すること。
 3. 新設部と既設部との接合面には、既設側のチッピングを十分行うこと。
 4. 既設部のコンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ である。
 5. 新設部の鉄筋は、SD345としコンクリート強度は $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ とする。

平面図



材 料 表 (可動部)

名 称	寸 法	材 質	単 位	数 量	備 考
S T式防蝕アンカー設置	M42D	S35GN S5400 CRスポンジ 合成ゴム、SR235	組	6	ST-SGN12
防 蝕 材	150x350x20	CRスポンジ	枚	6	

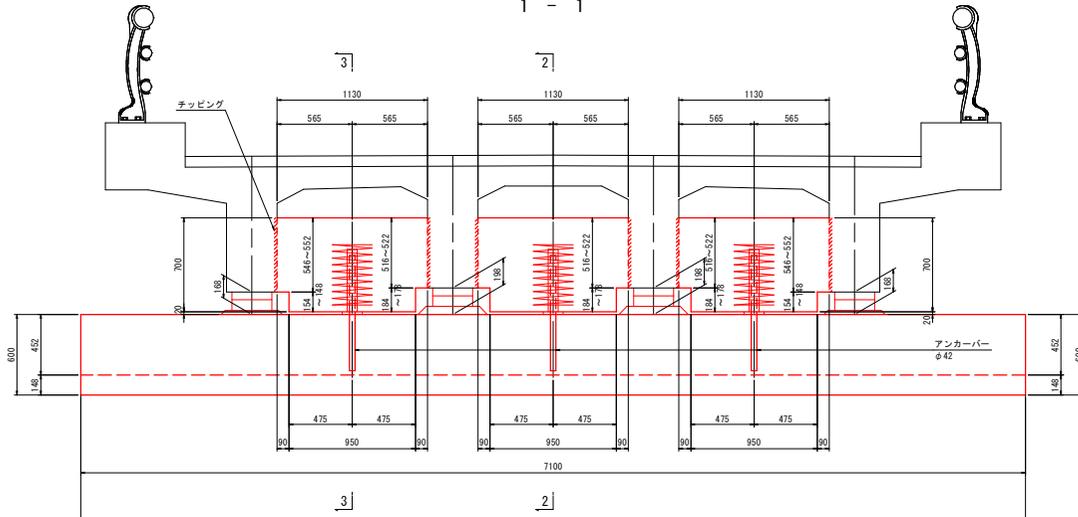
※ 防蝕アンカーのアンカーバー本体はST-SGN12とし、可動部アンカーキャップは選給めっきとする。

路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線(加勢蛇橋) 橋梁補修工事(3工区)(補助)		
図 名	横桁増厚構造図(その7)		
位 置	鳥取県琴浦町逢東~中尾		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 35 葉中の内 8		
令和 7 年度施行	鳥 取 県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

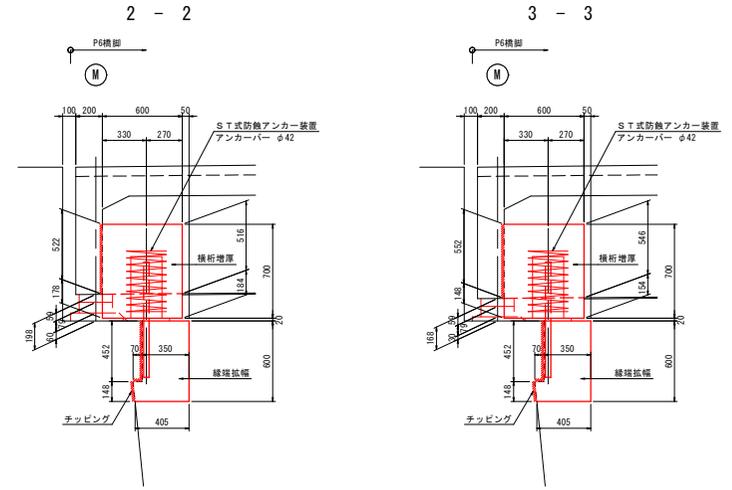
横桁増厚構造図 (その8) S=1:20

A2 橋台

正面図
1 - 1



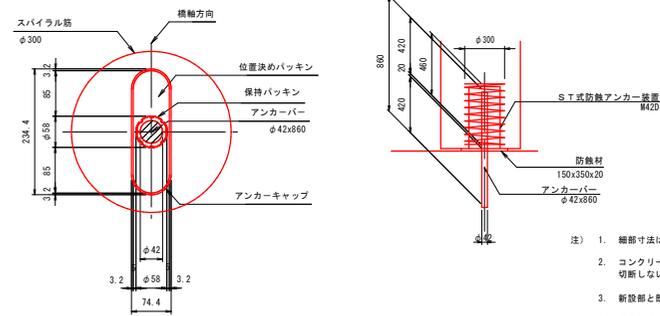
断面図



アンカーバー詳細図

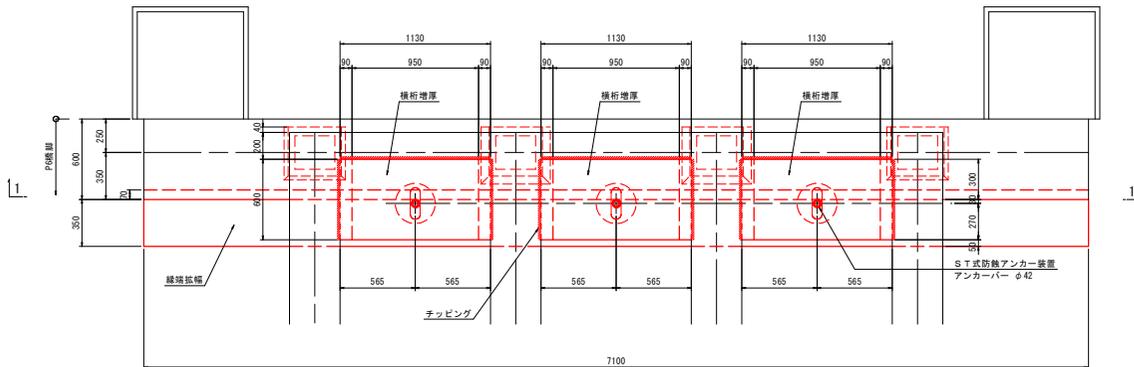
アンカーキャップ S=1:3

アンカー取付図 S=1:20



- 注)
1. 細部寸法は、現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
 2. コンクリート削孔は、鉄筋探査により既設鉄筋の位置を確認し、切断しないように施工すること。
 3. 新設部と既設部との接合面には、既設側のチッピングを十分行うこと。
 4. 既設部のコンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ である。
 5. 新設部の鉄筋は、SD345としコンクリート強度は $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ とする。

平面図



材 料 表 (可動部)

名 称	寸 法	材 質	単 位	数 量	備 考
S T 式防蝕アンカー装置	M420	S35CN SS400 CRスポンジ 防底ゴム、SR235	組	3	ST-SGN12
防蝕材	150x350x20	CRスポンジ	枚	3	

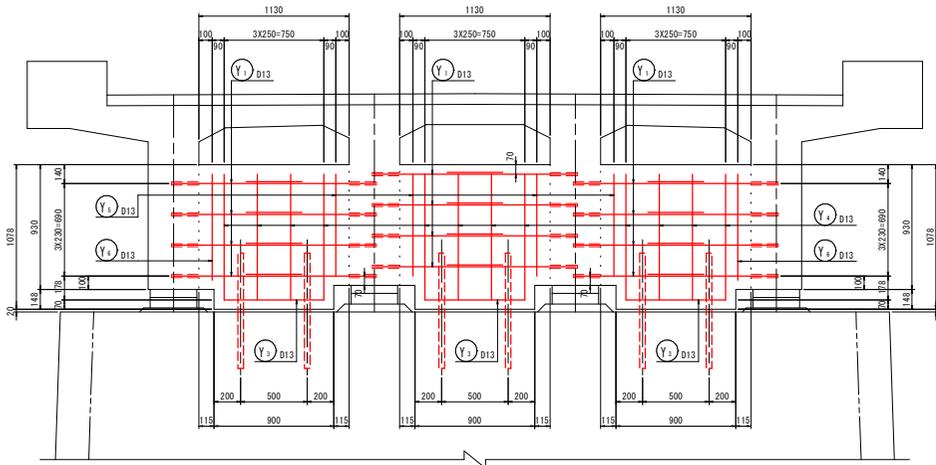
※ 防蝕アンカーのアンカーバー本体はST-SGN12とし、可動部アンカーキャップは蓋締めつきとする。

路線名	県道大栄赤碓線
県道大栄赤碓線 (加勢蛇橋) 橋梁補修工事 (3工区) (補助)	
図 名	横桁増厚構造図 (その8)
位 置	鳥取県琴浦町逢東～中尾
縮 尺	図示 単 位 MM
図 号	全 35 葉中の内 9
令 和 7 年度施行	鳥取県
鳥取県中部総合事務所県土整備局	

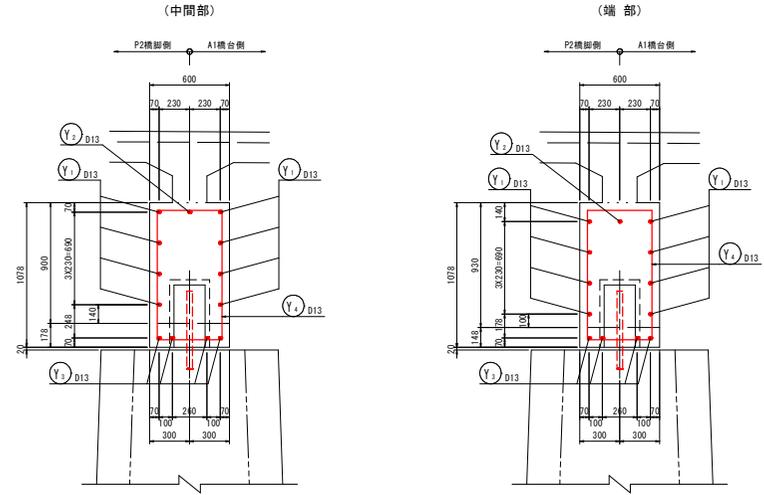
横桁増厚配筋図 (その2) S=1:20

(P1橋脚：横桁増厚)

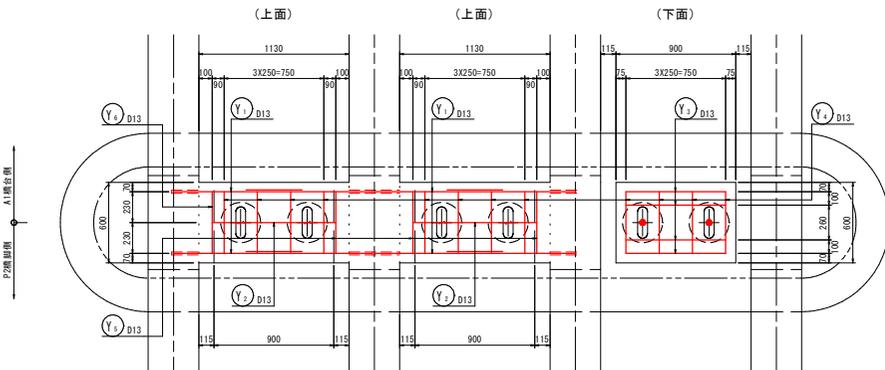
正面図



断面図



平面図



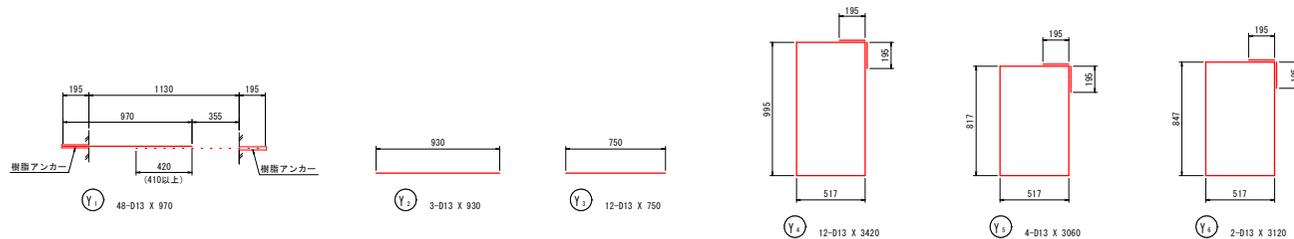
樹脂アンカー詳細図



鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要	
Y 1	D13	970	48	0.995	0.97	47	—	
Y 2	D13	930	3	0.995	0.93	3	—	
Y 3	D13	750	12	0.995	0.75	9	—	
Y 4	D13	3420	12	0.995	3.40	41	□	
Y 5	D13	3060	4	0.995	3.04	12	□	
Y 6	D13	3120	2	0.995	3.10	6	□	
							118	
合計 D13					118 kg			
総質量					118 kg			
アンカー削孔数 (φ23 L=205)				48 本				

1. 細部寸法は現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
2. 既設構体にアンカーを施工する際は、鉄筋探索を行って鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないものとする。
3. 既設部と新設部の接合面には、十分な下地処理（チッピング）を行うこと。
4. 現地に於て既設配筋調査後、適切な加工形状とすること。
5. アンカーバーと鉄筋が干渉する場合は干渉しない位置へ配置すること。

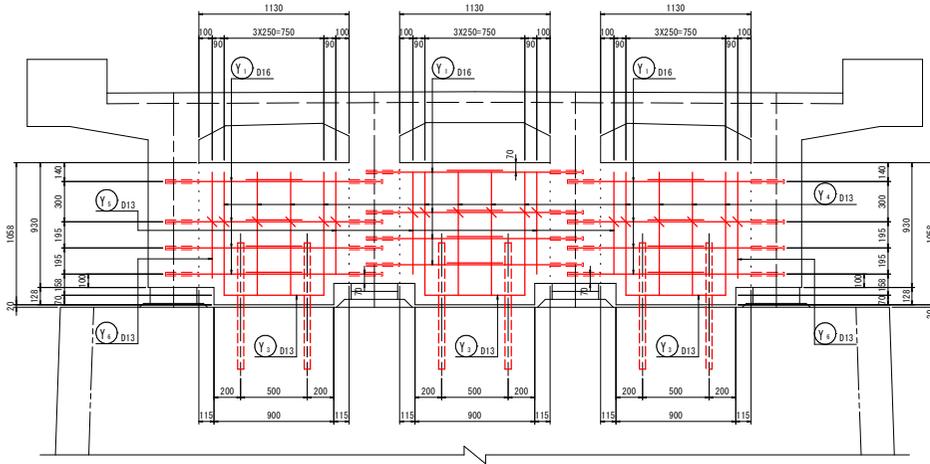


路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線（加勢蛇橋）		
	橋梁補修工事（3工区）（補助）		
図名	横桁増厚配筋図（その2）		
位置	鳥取県琴浦町逢東～中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 11		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

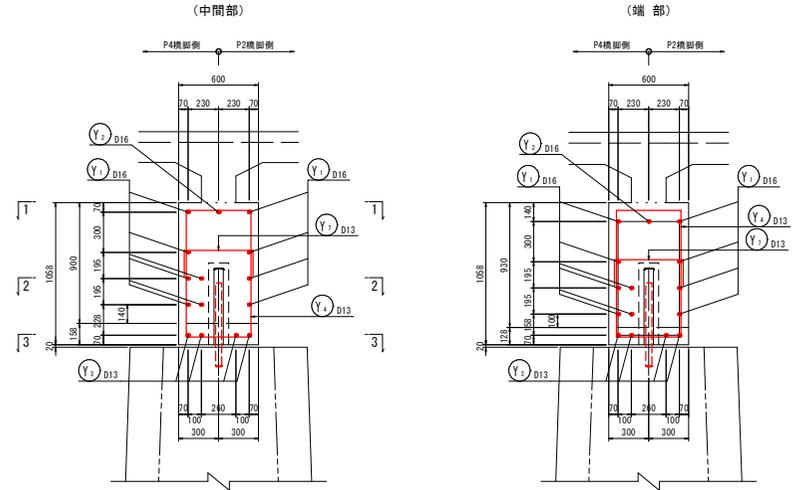
横桁増厚配筋図 (その4) S=1:20

(P3橋脚：横桁増厚)

正面図

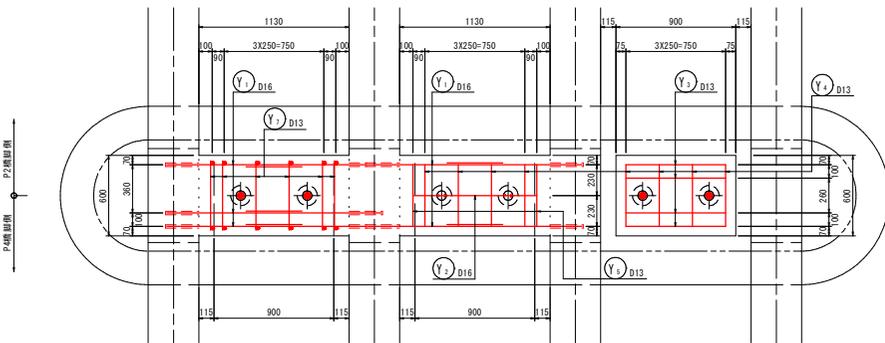


断面図

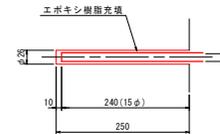


平面図

2 - 2 (中間部) 1 - 1 (上面) 3 - 3 (下面)



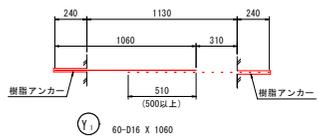
樹脂アンカー詳細図



鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要	
Y 1	D16	1060	60	1.56	1.65	99	—	
Y 2	D16	930	3	1.56	1.45	4	—	
Y 3	D13	750	12	0.995	0.75	9	—	
Y 4	D13	3380	12	0.995	3.36	40	□	
Y 5	D13	3060	4	0.995	3.04	12	□	
Y 6	D13	3120	2	0.995	3.10	6	□	
Y 7	D13	910	18	0.995	0.91	16	□	
							186	
合計 D16							103 kg	
D13							83 kg	
総質量							186 kg	
アンカー割孔数 (φ26 L=250)							60 本	

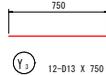
1. 細部寸法は現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
2. 既設構体にアンカーを施工する際は、鉄筋調査を行って鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないものとする。
3. 既設部と新設部の接合面には、十分な下地処理（チッピング）を行うこと。
4. 既地にて既設配筋調査後、適切な加工形状とすること。
5. アンカーバーと鉄筋が干渉する場合は、干渉しない位置へ配置すること。



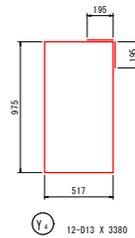
Y1 60-D16 X 1060



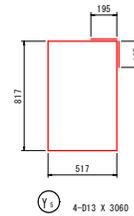
Y2 3-D16 X 930



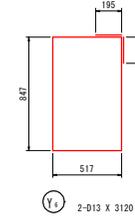
Y3 12-D13 X 750



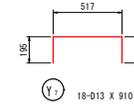
Y4 12-D13 X 3380



Y5 4-D13 X 3060



Y6 2-D13 X 3120



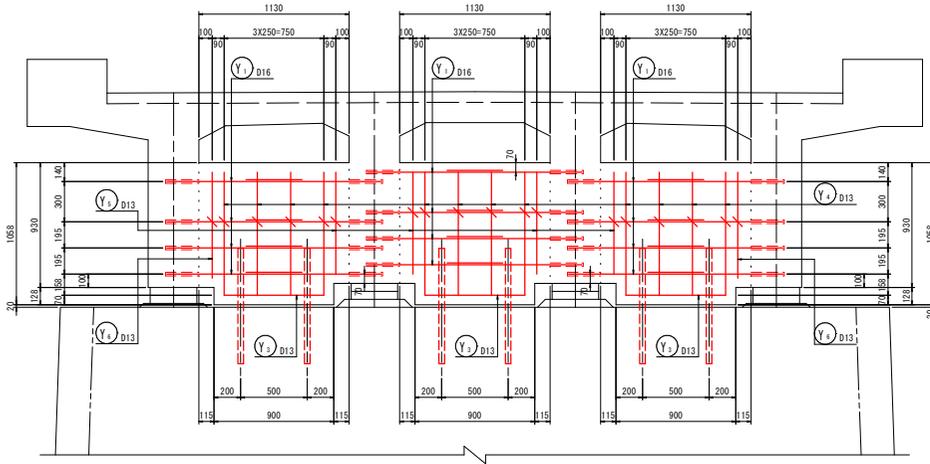
Y7 18-D13 X 910

路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線（加勢蛇橋） 橋梁補修工事（3工区）（補助）		
図名	横桁増厚配筋図（その4）		
位置	鳥取県琴浦町逢東～中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 13		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

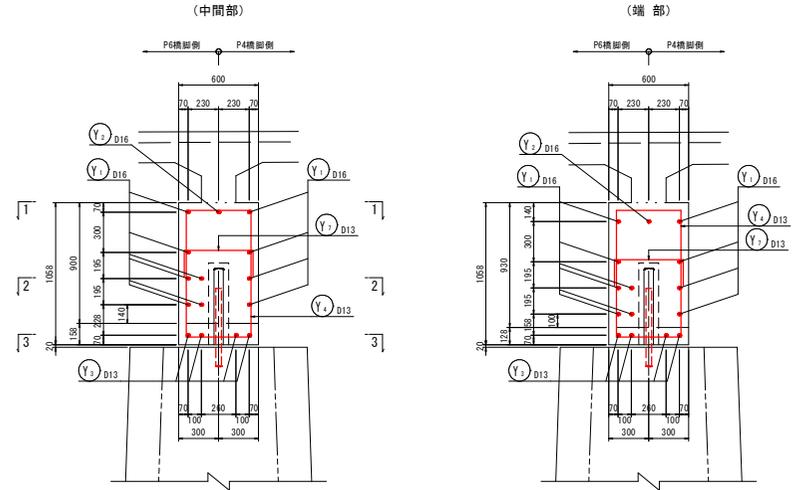
横桁増厚配筋図 (その6) S=1:20

(P5橋脚：横桁増厚)

正面図

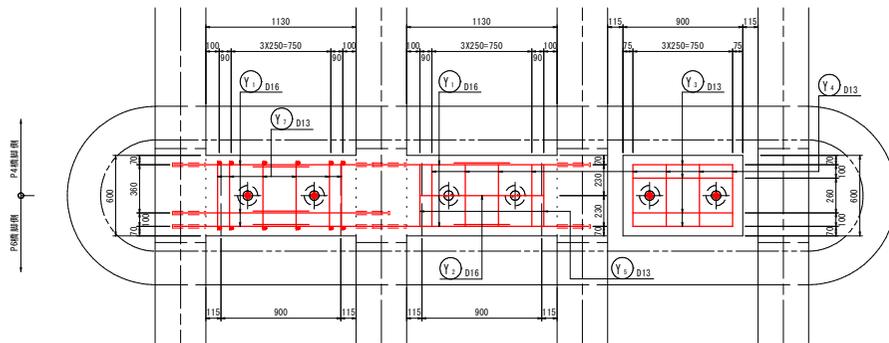


断面図

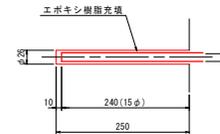


平面図

2-2 (中間部) 1-1 (上面) 3-3 (下面)



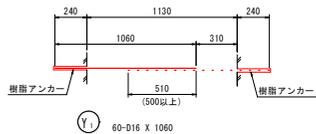
樹脂アンカー詳細図



鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要	
Y 1	D16	1060	60	1.56	1.65	99	—	
Y 2	D16	930	3	1.56	1.45	4	—	
Y 3	D13	750	12	0.995	0.75	9	—	
Y 4	D13	3380	12	0.995	3.36	40	□	
Y 5	D13	3060	4	0.995	3.04	12	□	
Y 6	D13	3120	2	0.995	3.10	6	□	
Y 7	D13	910	18	0.995	0.91	16	□	
							186	
合計 D16							103 kg	
D13							83 kg	
総質量							186 kg	
アンカー割孔数 (φ26 L=250)							60 本	

1. 細部寸法は現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
2. 既設構体にアンカーを施工する際は、鉄筋探査を行って鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないものとする。
3. 既設部と新設部の接合面には、十分な下地処理（チッピング）を行うこと。
4. 既地にて既設配筋調査後、適切な加工形状とすること。
5. アンカーバーと鉄筋が干渉する場合は、干渉しない位置へ配置すること。



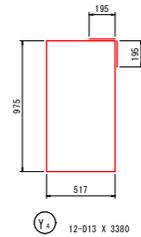
Y1 60-D16 X 1060



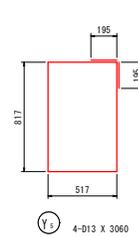
Y2 3-D16 X 930



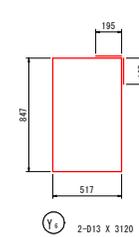
Y3 12-D13 X 750



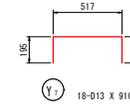
Y4 12-D13 X 3380



Y5 4-D13 X 3060



Y6 2-D13 X 3120



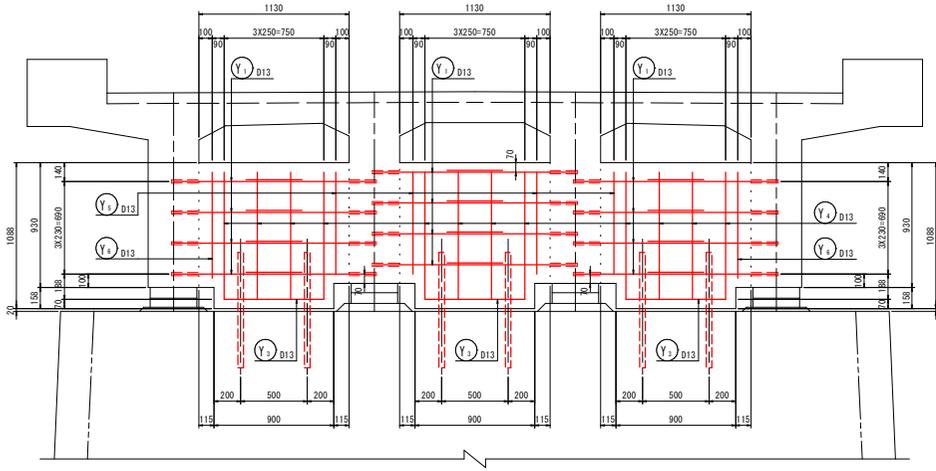
Y7 18-D13 X 910

路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線（加勢蛇橋） 橋梁補修工事（3工区）（補助）		
図名	横桁増厚配筋図（その6）		
位置	鳥取県琴浦町逢東～中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 15		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

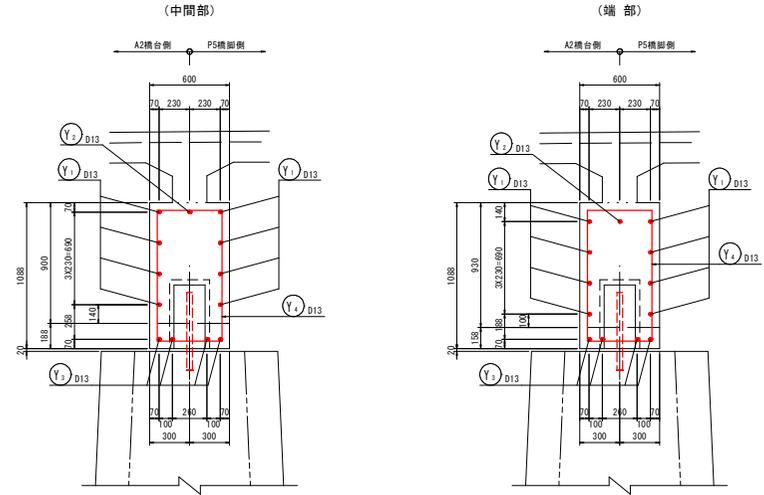
横桁増厚配筋図 (その7) S=1:20

(P6橋脚：横桁増厚)

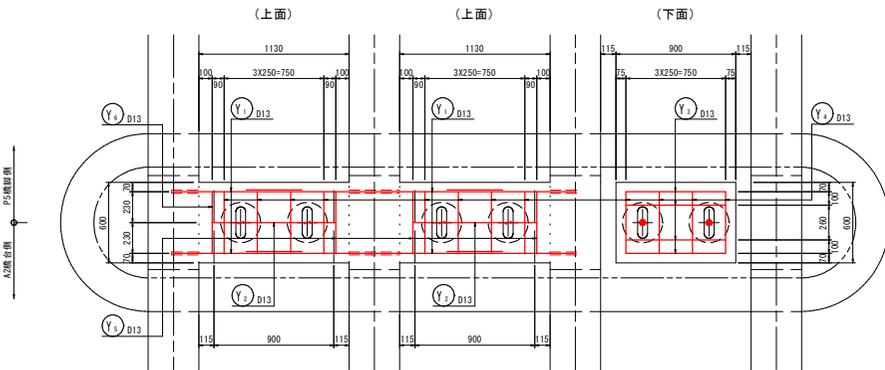
正面図



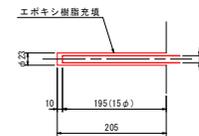
断面図



平面図



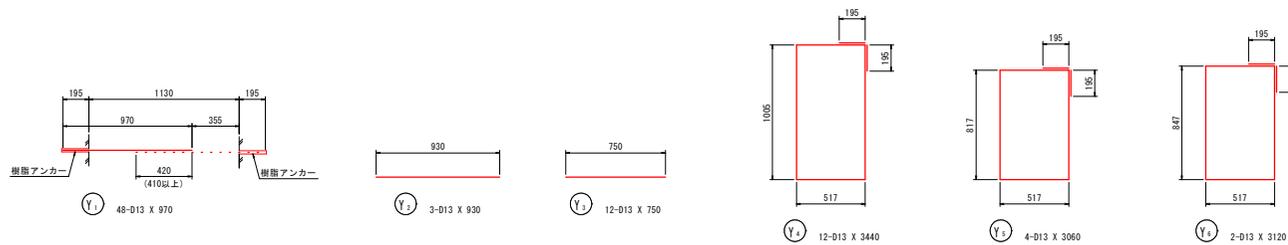
樹脂アンカー詳細図



鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要	
Y 1	D13	970	48	0.995	0.97	47	—	
Y 2	D13	930	3	0.995	0.93	3	—	
Y 3	D13	750	12	0.995	0.75	9	—	
Y 4	D13	3440	12	0.995	3.42	41	□	
Y 5	D13	3060	4	0.995	3.04	12	□	
Y 6	D13	3120	2	0.995	3.10	6	□	
							118	
合計 D13							118 kg	
総質量							118 kg	
アンカー削孔数 (φ23 L=205)							48 本	

1. 細部寸法は現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
2. 既設構体にアンカーを施工する際は、鉄筋探索を行って鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないものとする。
3. 既設部と新設部の接合面には、十分な下地処理（チッピング）を行うこと。
4. 現地に於て既設配筋調査後、適切な加工形状とすること。
5. アンカーバーと鉄筋が干渉する場合は、干渉しない位置へ配置すること。

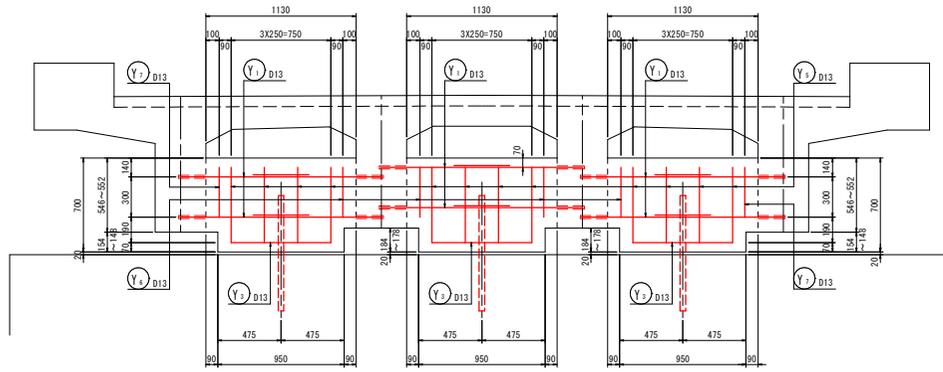


路線名	県道大赤赤碓線		
	県道大赤赤碓線（加勢蛇橋）		
	橋梁補修工事（3工区）（補助）		
図名	横桁増厚配筋図（その7）		
位置	鳥取県琴浦町逢東～中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 16		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

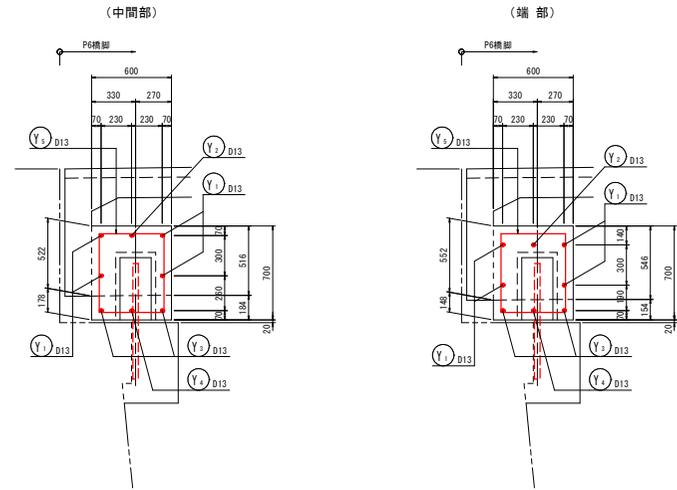
横桁増厚配筋図 (その8) S=1:20

(A2橋台：横桁増厚)

正面図

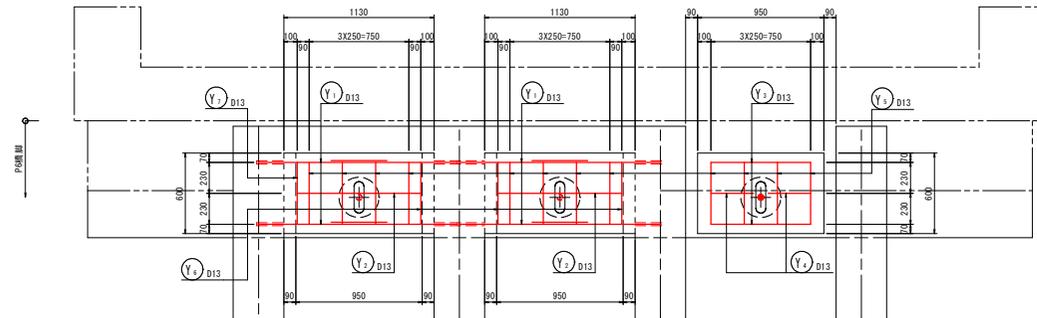


断面図

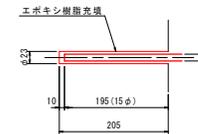


平面図

(上面) (上面) (下面)



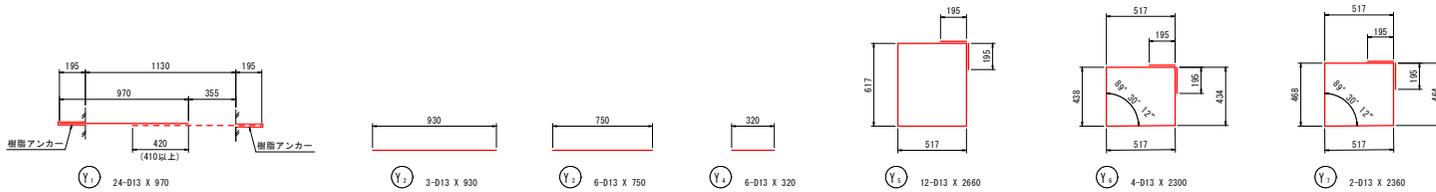
樹脂アンカー詳細図



鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	換算
Y 1	D13	970	24	0.995	0.97	23	—
Y 2	D13	930	3	0.995	0.93	3	—
Y 3	D13	750	6	0.995	0.75	5	—
Y 4	D13	320	6	0.995	0.32	2	—
Y 5	D13	2660	12	0.995	2.65	32	□
Y 6	D13	2300	4	0.995	2.29	9	□
Y 7	D13	2360	2	0.995	2.35	5	□
						79	
合計 D13						79 kg	
総質量						79 kg	
アンカー削孔数 (φ23 L=205)						24 本	

1. 細部寸法は現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
2. 既設構体にアンカーを施工する際は、鉄筋探索を行って鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないものとする。
3. 既設部と新設部の接合面には、十分な下地処理（チッピング）を行うこと。
4. 現地にて既設配筋調査後、適切な加工形状とすること。
5. アンカーバーと鉄筋が干渉する場合は、干渉しない位置へ配置すること。

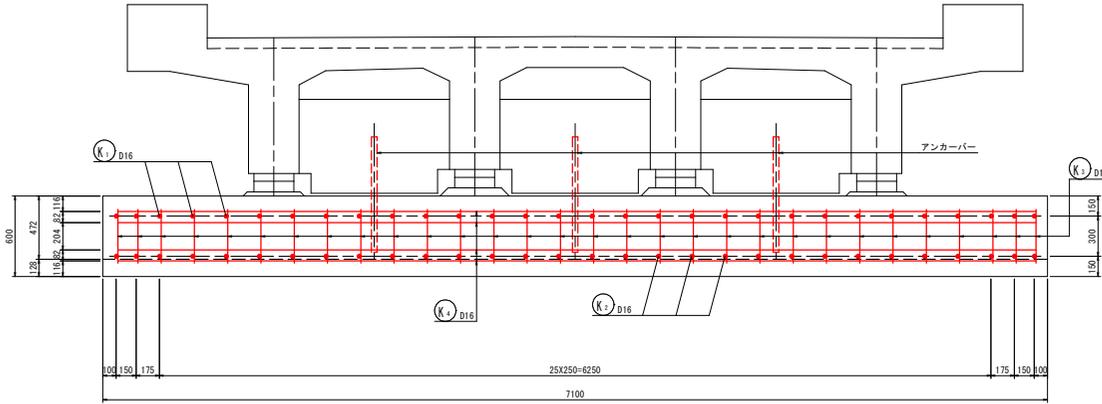


路線名	県道大赤赤碓線		
県道大赤赤碓線（加勢蛇橋）橋梁補修工事（3工区）（補助）			
図名	横桁増厚配筋図(その8)		
位置	鳥取県琴浦町逢東～中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 17		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

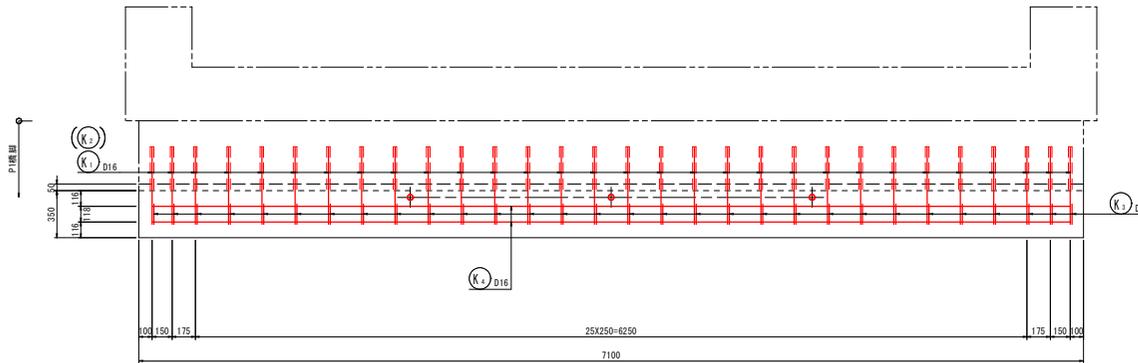
縁端拡幅配筋図 (その1) S=1:20

(A1橋台：縁端拡幅)

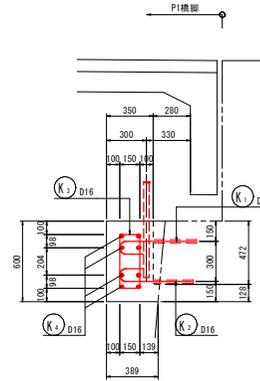
正面図



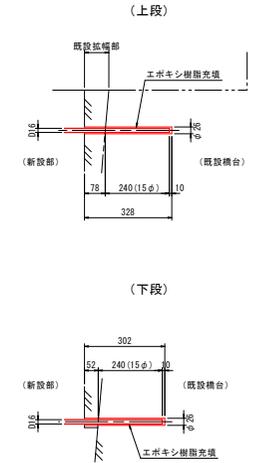
平面図



断面図



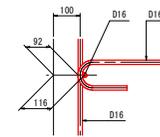
樹脂アンカー詳細図 S=1:10



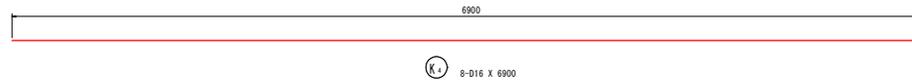
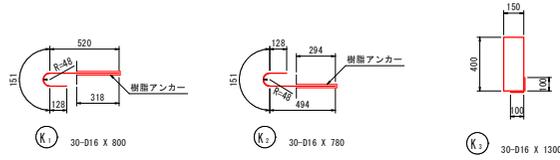
鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
K 1	D16	800	30	1.56	1.25	38	←
K 2	D16	780	30	1.56	1.22	37	←
K 3	D16	1300	30	1.56	2.03	61	↑
K 4	D16	6900	8	1.56	10.76	86	←
						222	
合計 D16					222 kg		
総質量					222 kg		
アンカー削孔 (φ26)					60本 (30 + 30 = 60)		

かぶり詳細図 S=1:10



- 注) 1. 細部寸法は、現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
 2. コンクリート削孔は、鉄筋探査により既設鉄筋の位置を確認し、切断しないように施工すること。
 3. 新設部と既設部との接合面には、既設側のチッピングを十分行うこと。
 4. 既設部のコンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ である。
 5. 新設部の鉄筋は、SD345としコンクリート強度は $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ とする。

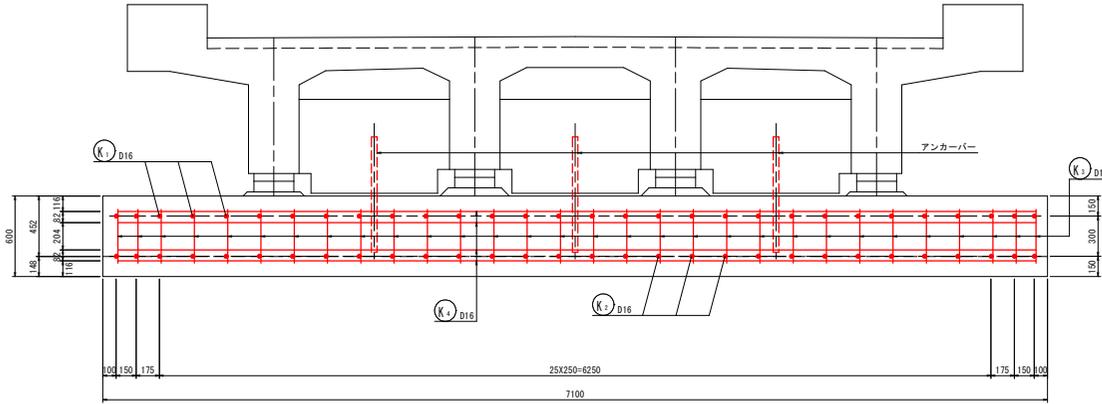


路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線 (加勢蛇橋) 橋梁補修工事 (3工区) (補助)		
図名	縁端拡幅配筋図 (その1)		
位置	鳥取県琴浦町逢東～中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 18		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

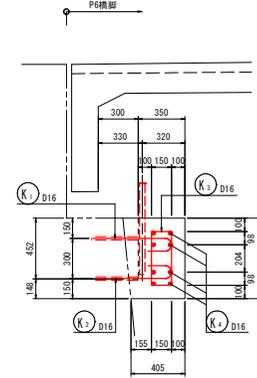
縁端拡幅配筋図 (その2) S=1:20

(A2橋台：縁端拡幅)

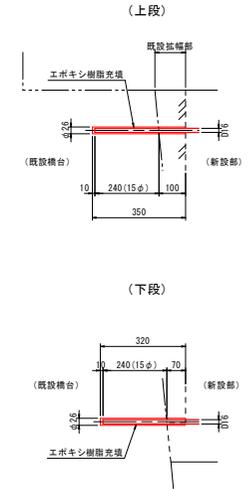
正面図



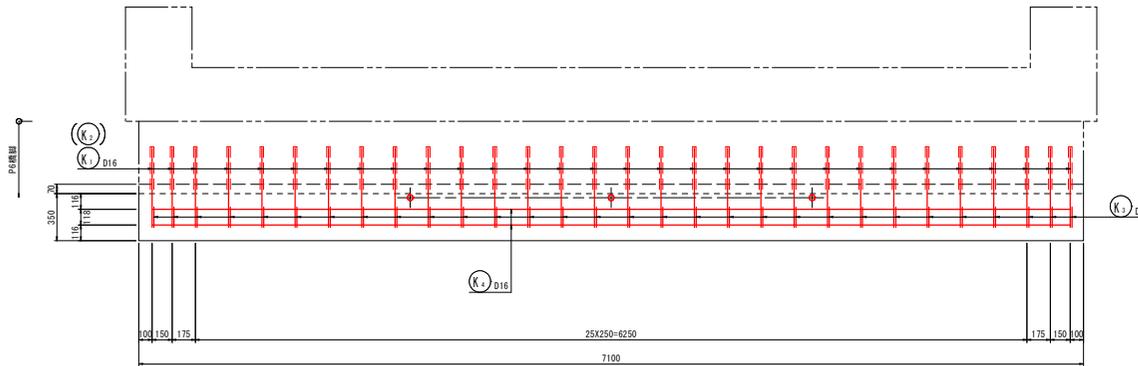
断面図



樹脂アンカー詳細図 S=1:10



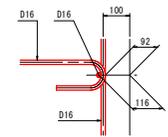
平面図



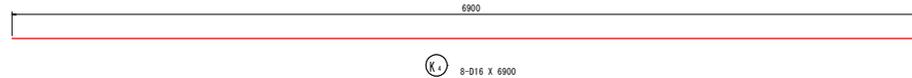
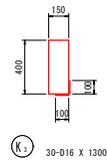
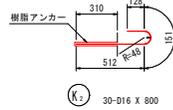
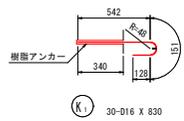
鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
K 1	D16	830	30	1.56	1.29	39	→
K 2	D16	800	30	1.56	1.25	38	→
K 3	D16	1300	30	1.56	2.03	61	□
K 4	D16	6900	8	1.56	10.76	86	→
						224	
合計 D16					224 kg		
総質量					224 kg		
アンカー削孔 (φ26)					60本 (30×30=60)		

かぶり詳細図 S=1:10



- 注) 1. 細部寸法は、現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
 2. コンクリート削孔は、鉄筋探査により既設鉄筋の位置を確認し、切断しないように施工すること。
 3. 新設部と既設部との接合面には、既設側のチッピングを十分行うこと。
 4. 既設部のコンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ である。
 5. 新設部の鉄筋は、SD345としコンクリート強度は $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ とする。

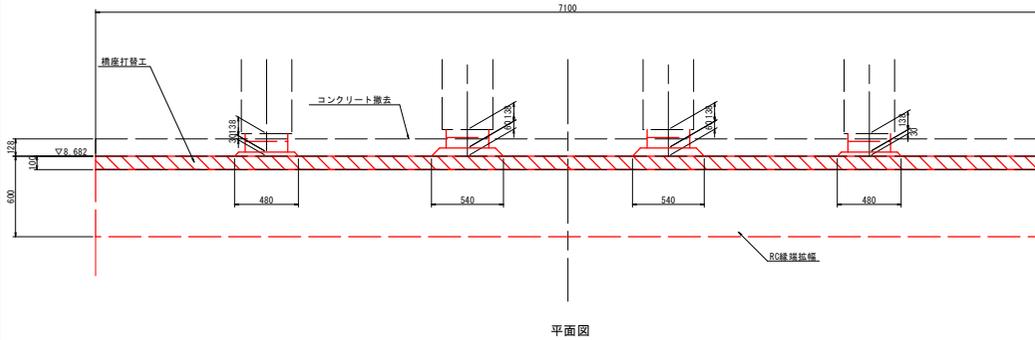


路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線 (加勢蛇橋) 橋梁補修工事 (3工区) (補助)		
図名	縁端拡幅配筋図 (その2)		
位置	鳥取県琴浦町逢東～中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 19		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

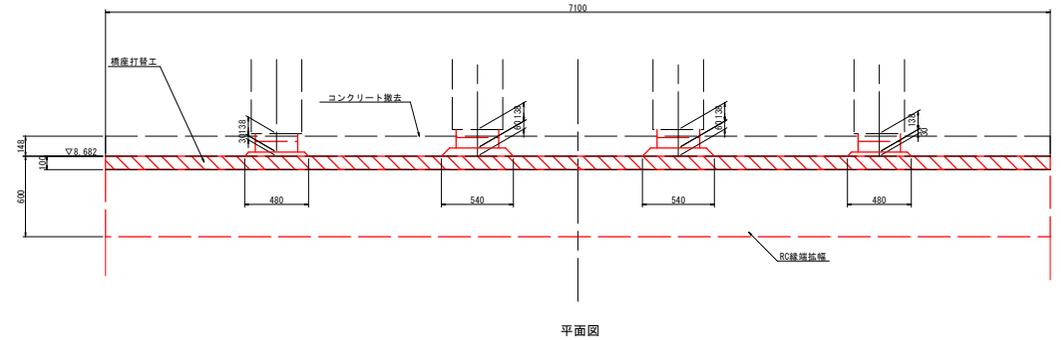
橋座改良詳細図(その1)

S=1:20

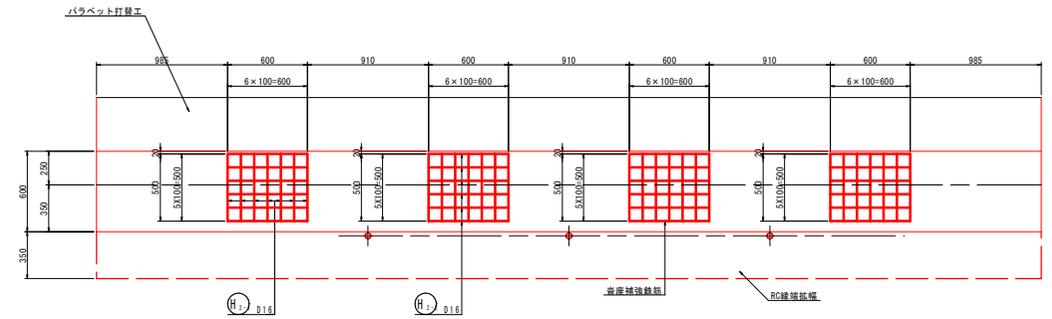
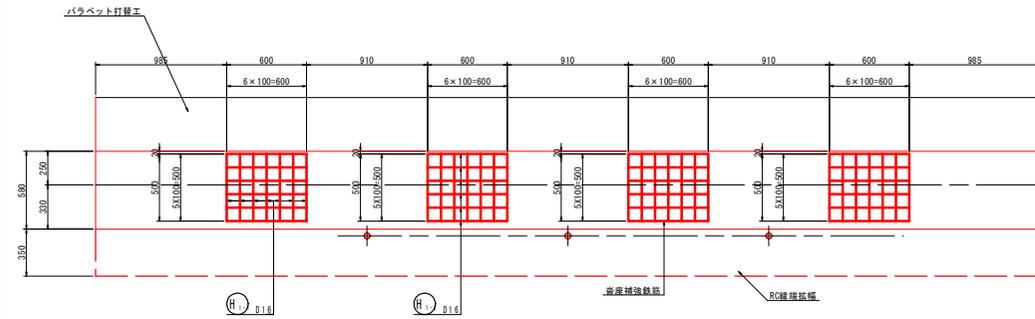
A1橋台
復旧
正面図



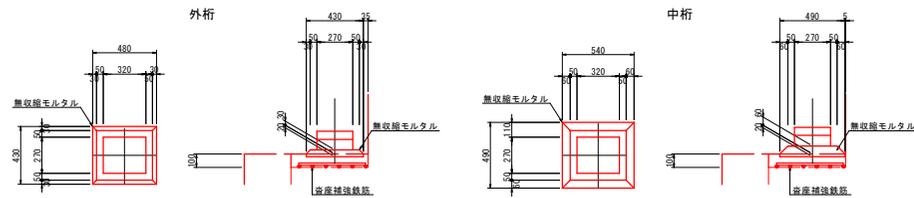
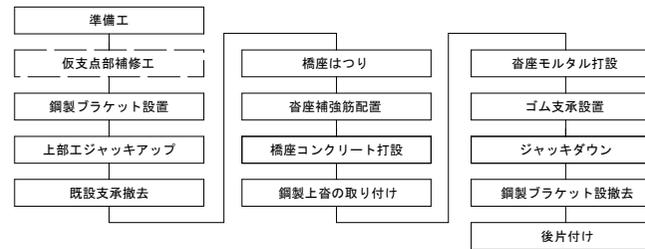
A2橋台
復旧
正面図



沓座詳細図

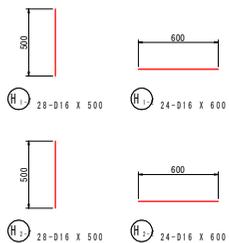


支承交換施工フロー



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	備 考
A1橋台							
H-1-1	D16	500	28	1.56	0.780	22	
H-1-2	D16	600	24	1.56	0.936	22	
							44
A2橋台							
H-2-1	D16	500	28	1.56	0.780	22	
H-2-2	D16	600	24	1.56	0.936	22	
							44
合 計 D16				88	kg		
総質量				88	kg		



- 注) 1. 細部寸法は、現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
 2. 新設部と既設部との接合面には、既設側のチッピングを十分行うこと。
 3. 既設部のコンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ である。
 4. 新設部の鉄筋は、SD345としコンクリート強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ とする。

路線名	県道大栄赤碓線		
県道大栄赤碓線(加勢蛇橋)橋梁補修工事(3工区)(補助)			
図 名	橋座改良詳細図(その1)		
位 置	鳥取県琴浦町逢東～中尾		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 35 葉中の内 20		
令和 7 年度施行		鳥取県	
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

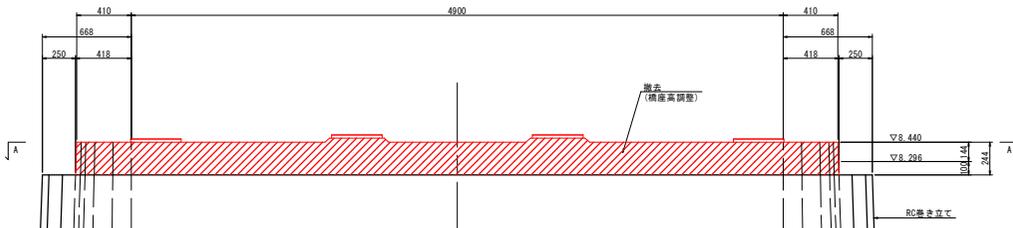
橋座改良詳細図(その2)

S=1:20

P1橋脚

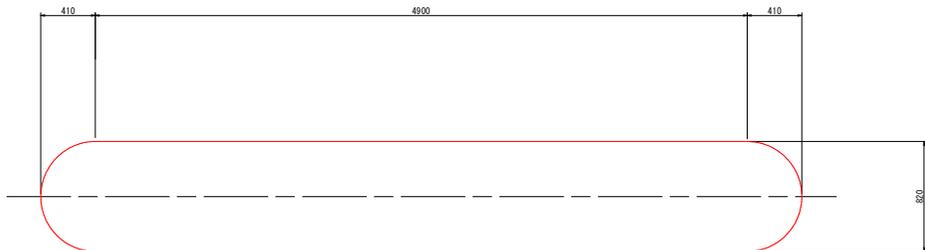
撤去

正面図



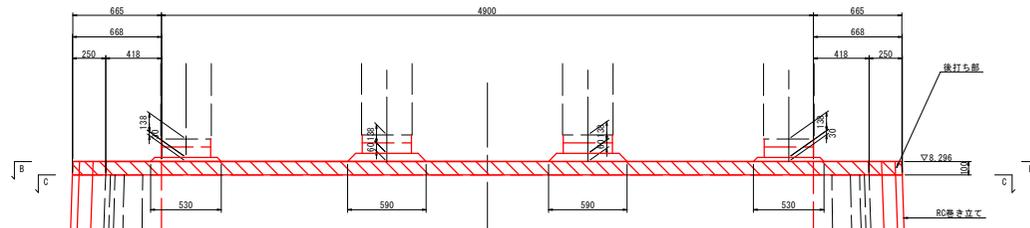
平面図

A - A



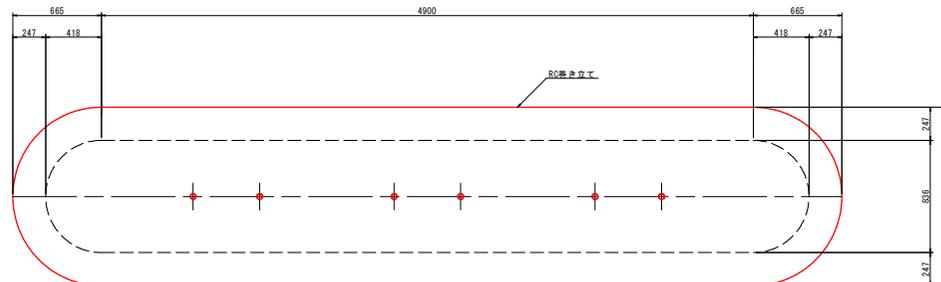
復旧

正面図



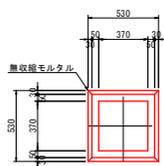
平面図

B - B

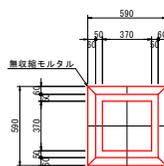


沓座詳細図

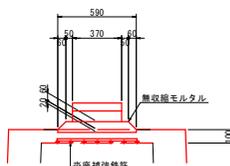
外桁



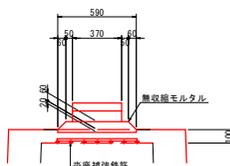
中桁



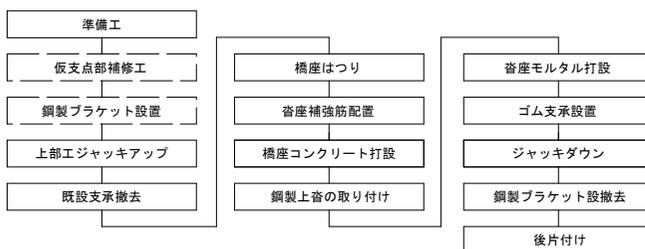
外桁



中桁

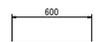


支承交換施工フロー



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	備考
H ₁	D16	600	56	1.56	0.936	52	
合計 D16						52 kg	
総質量						52 kg	



H₁ 56-D16 X 600

- 注) 1. 細部寸法は、現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
 2. 新設部と既設部との接合面には、既設側のチッピングを十分行うこと。
 3. 既設部のコンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ である。
 4. 新設部の鉄筋は、SD345としコンクリート強度は $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ とする。

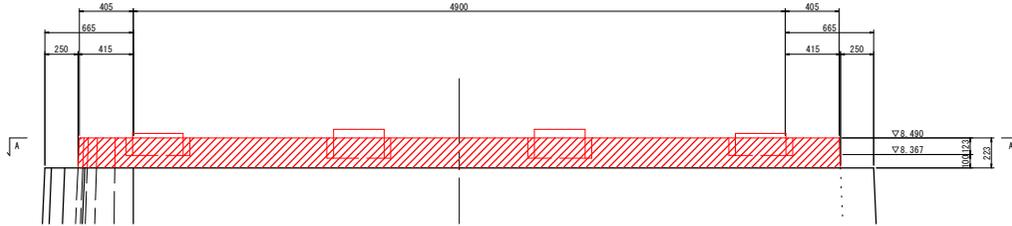
路線名	県道大赤赤碓線		
県道大赤赤碓線(加勢蛇橋)橋梁補修工事(3工区)(補助)			
図名	橋座改良詳細図(その2)		
位置	鳥取県琴浦町逢東～中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 21		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

橋座改良詳細図(その3)

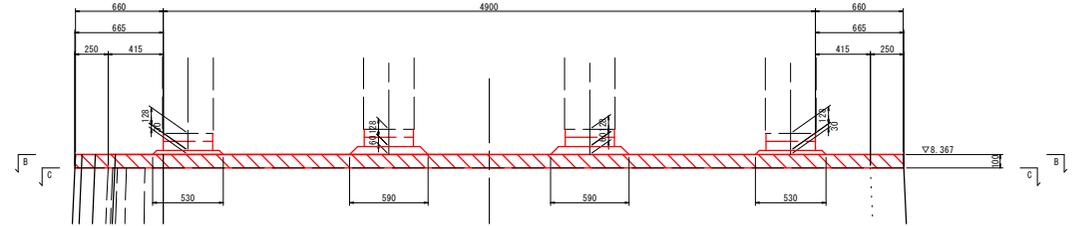
S=1:20

P2橋脚

撤去
正面図



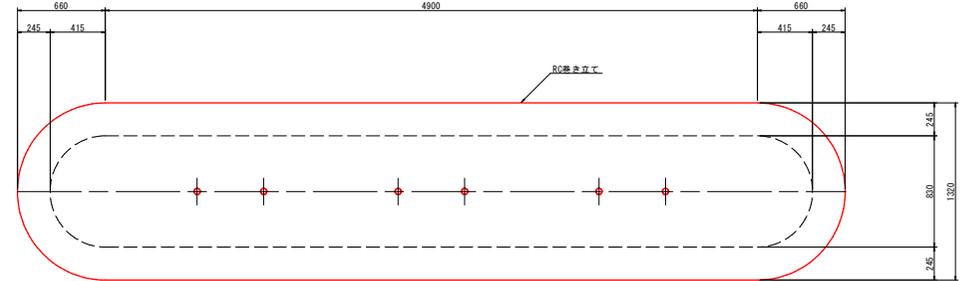
復旧
正面図



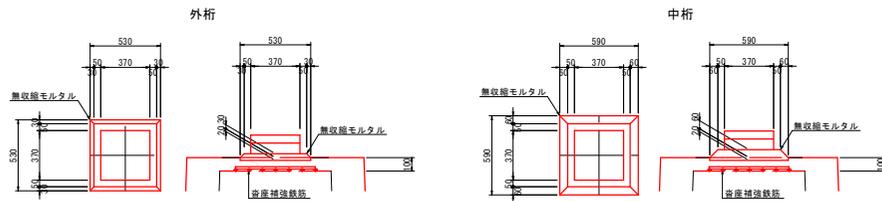
平面図
A-A



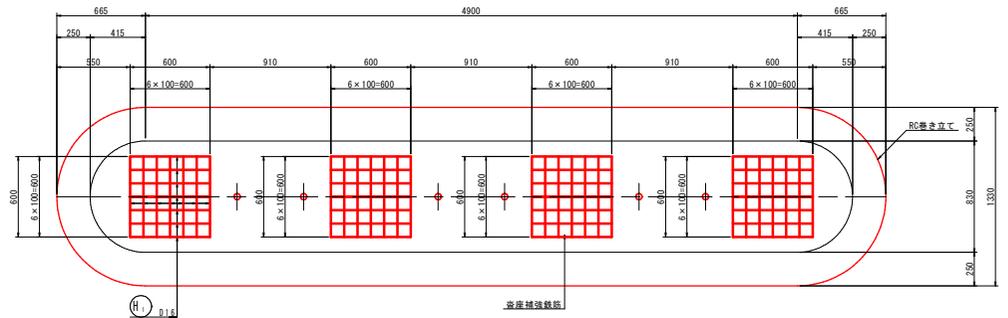
平面図
B-B



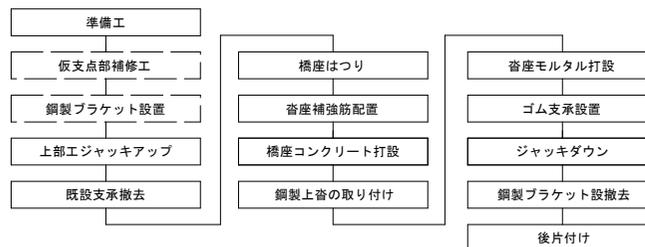
沓座詳細図



C-C



支承交換施工フロー



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	備考
H1	D16	600	56	1.56	0.936	52	
合計 D16						52 kg	
総質量						52 kg	



H1 56-D16 X 600

- 注) 1. 細部寸法は、現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
 2. 新設部と既設部との接合面には、既設側のチッピングを十分行うこと。
 3. 既設部のコンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ である。
 4. 新設部の鉄筋は、SD345としコンクリート強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ とする。

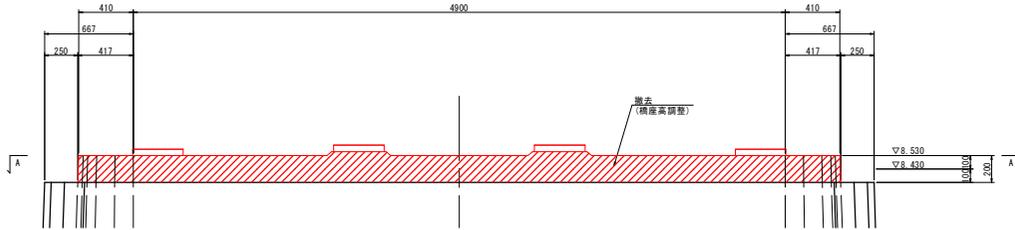
路線名	県道大栄赤碓線
県道大栄赤碓線(加勢蛇橋)橋梁補修工事(3工区)(補助)	
図名	橋座改良詳細図(その3)
位置	鳥取県琴浦町逢東~中尾
縮尺	図示
単位	MM
図号	全 35 葉中の内 22
令和 7 年度施行	鳥取県
鳥取県中部総合事務所県土整備局	

橋座改良詳細図(その4)

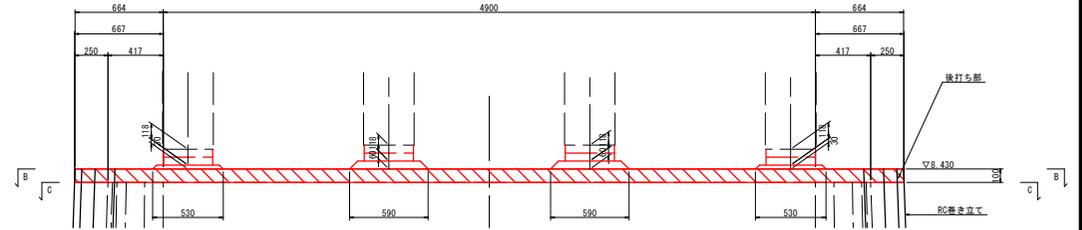
S=1:20

P3橋脚

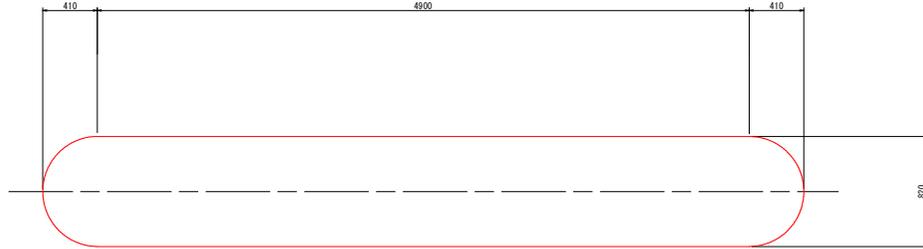
撤去
正面図



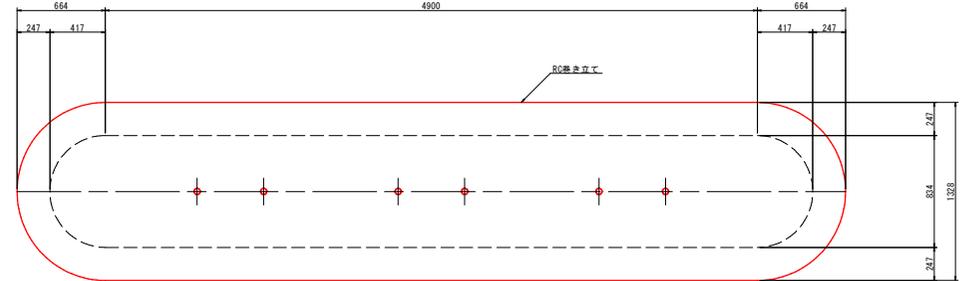
復旧
正面図



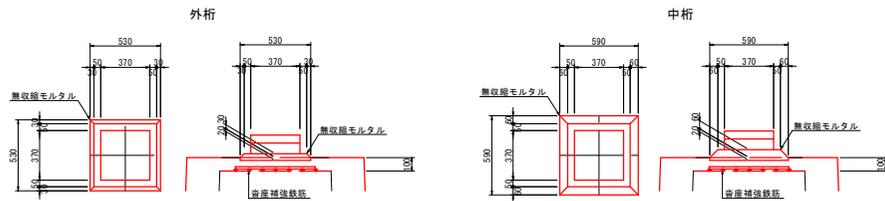
平面図
A-A



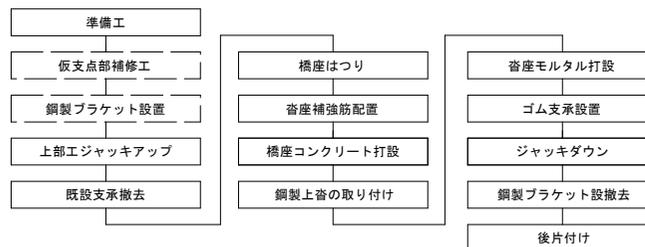
平面図
B-B



沓座詳細図



支承交換施工フロー



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	換算
H1	D16	600	56	1.56	0.936	52	
合計 D16						52 kg	
総質量						52 kg	



H1 56-D16 X 600

- 注) 1. 細部寸法は、現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
 2. 新設部と既設部との接合面には、既設側のチッピングを十分行うこと。
 3. 既設部のコンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ である。
 4. 新設部の鉄筋は、SD345としコンクリート強度は $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ とする。

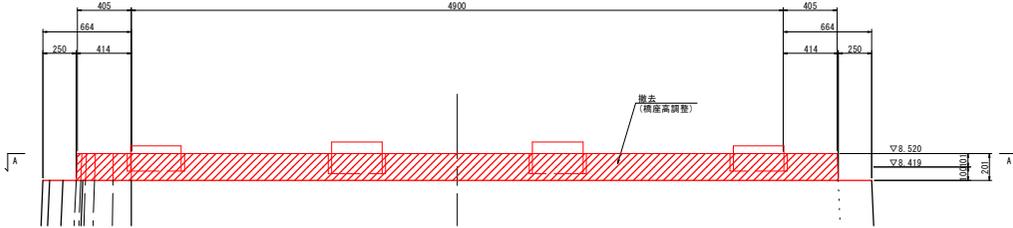
路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線(加勢蛇橋)橋梁補修工事(3工区)(補助)		
図名	橋座改良詳細図(その4)		
位置	鳥取県琴浦町逢庭～中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 23		
令和 7 年度施行	鳥取県		
	鳥取県中部総合事務所県土整備局		

橋座改良詳細図(その5)

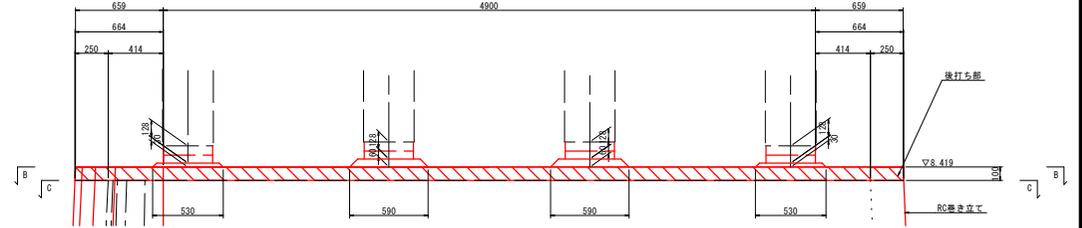
S=1:20

P4橋脚

撤去
正面図



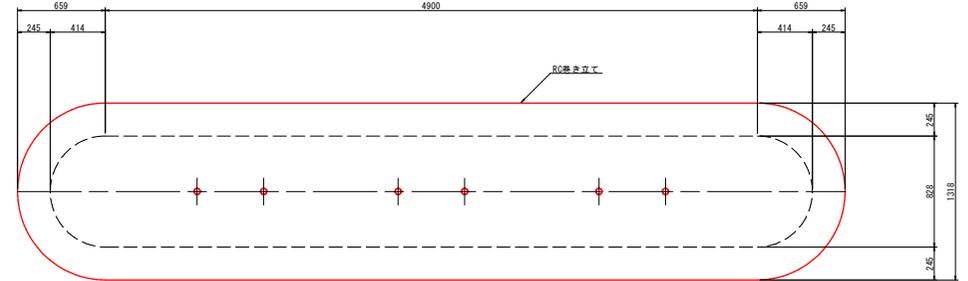
復旧
正面図



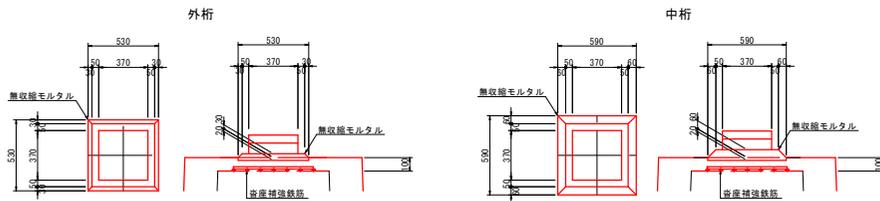
平面図
A-A



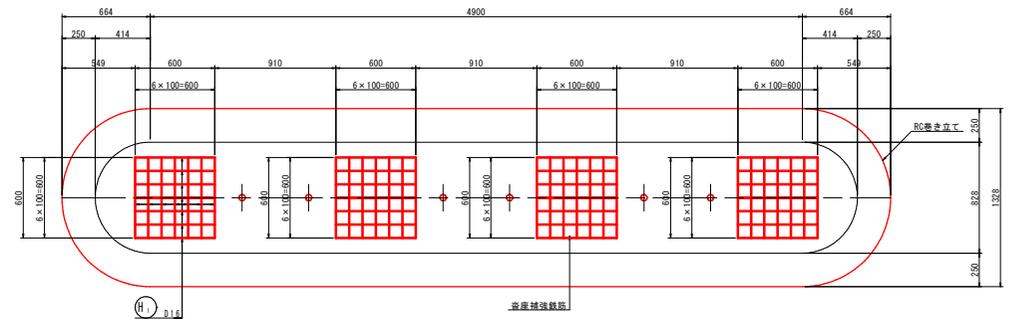
平面図
B-B



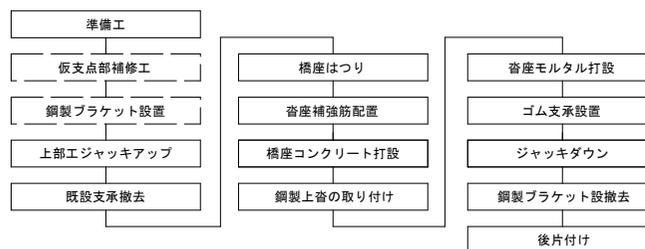
沓座詳細図



C-C

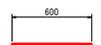


支承交換施工フロー



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	換算
H1	D16	600	56	1.56	0.926	52	
合計				D16		52 kg	
				総質量		52 kg	



H1 56-D16 X 600

- 注) 1. 細部寸法は、現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
2. 新設部と既設部との接合面には、既設側のチッピングを十分行うこと。
3. 既設部のコンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ である。
4. 新設部の鉄筋は、SD345としコンクリート強度は $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ とする。

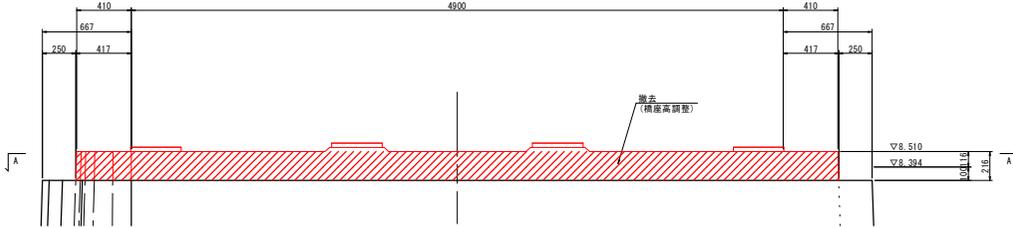
路線名	県道大栄赤碓線		
県道大栄赤碓線(加勢蛇橋)橋梁補修工事(3工区)(補助)			
図名	橋座改良詳細図(その5)		
位置	鳥取県琴浦町逢東~中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 24		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

橋座改良詳細図(その6)

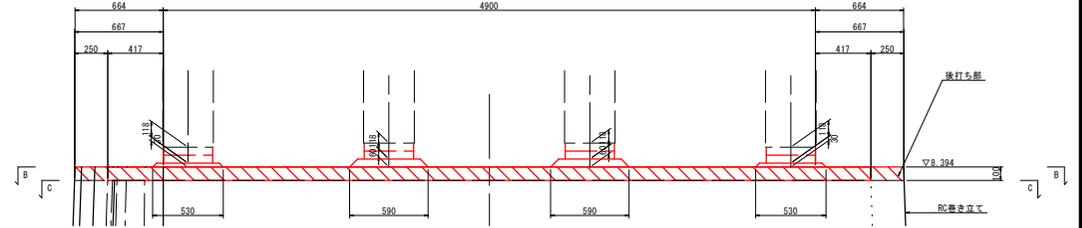
S=1:20

P5橋脚

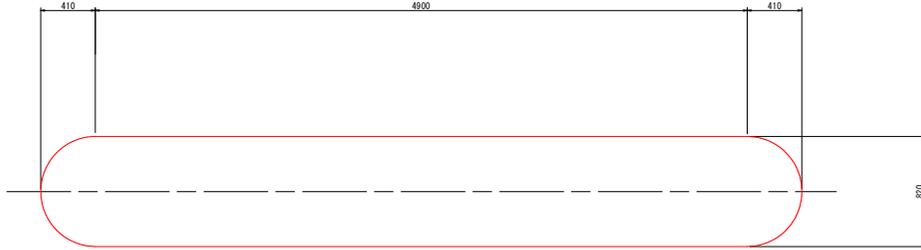
撤去
正面図



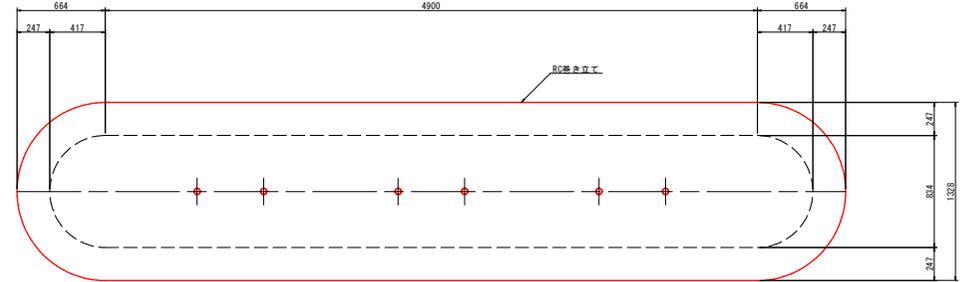
復旧
正面図



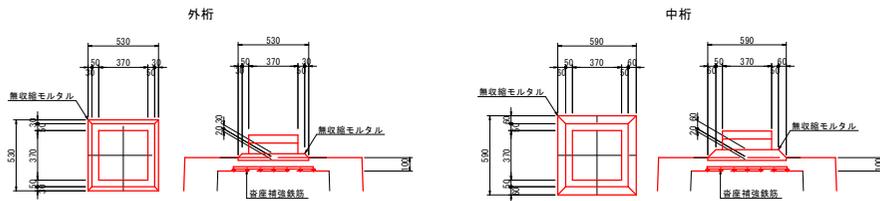
平面図
A-A



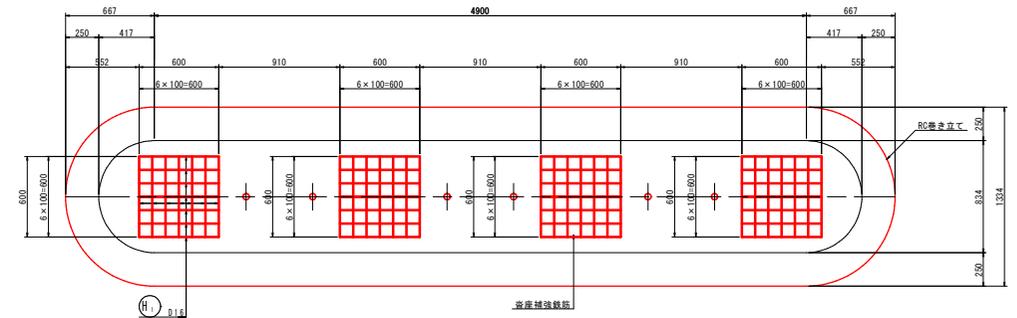
平面図
B-B



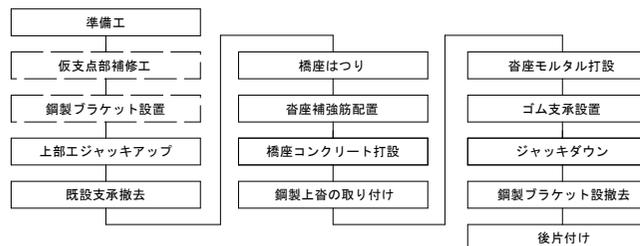
沓座詳細図



C-C

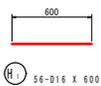


支承交換施工フロー



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	換算
H	D16	600	56	1.56	0.936	52	
合計 D16						52 kg	
総質量						52 kg	



- 注) 1. 細部寸法は、現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
 2. 新設部と既設部との接合面には、既設側のチッピングを十分行うこと。
 3. 既設部のコンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ である。
 4. 新設部の鉄筋は、SD345としコンクリート強度は $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ とする。

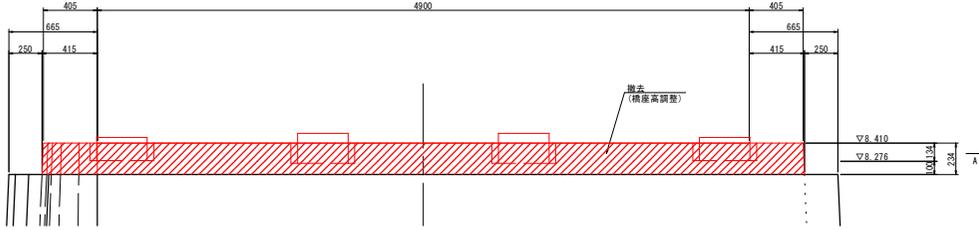
路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線(加勢蛇橋)橋梁補修工事(3工区)(補助)		
図名	橋座改良詳細図(その6)		
位置	鳥取県琴浦町逢東~中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 25		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

橋座改良詳細図(その7)

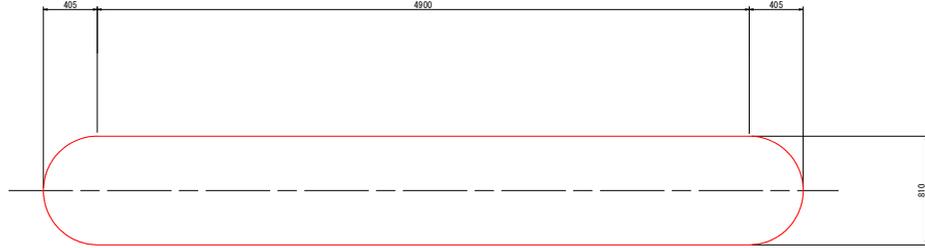
S=1:20

P6橋脚

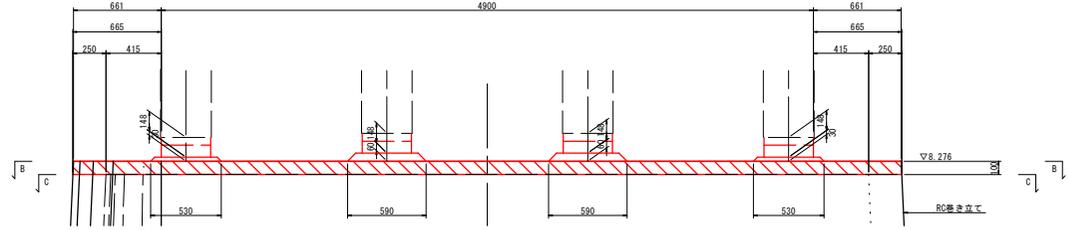
撤去
正面図



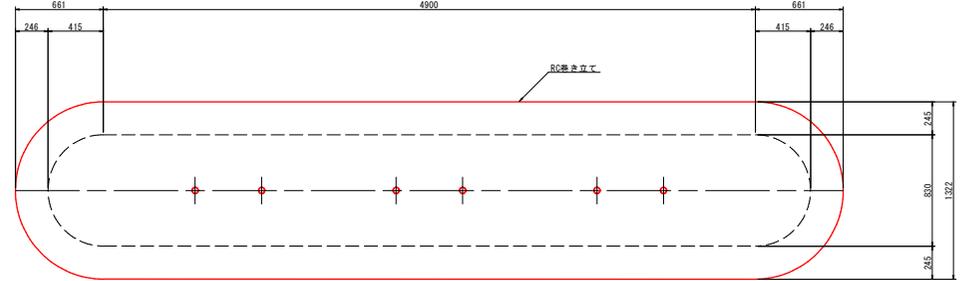
平面図
A-A



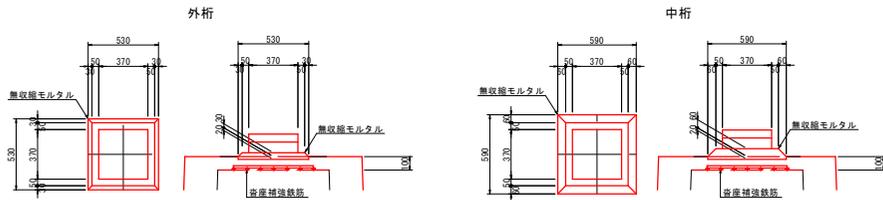
復旧
正面図



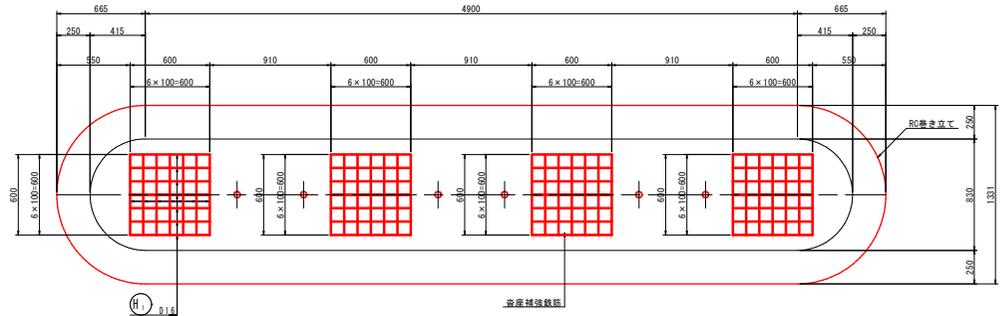
平面図
B-B



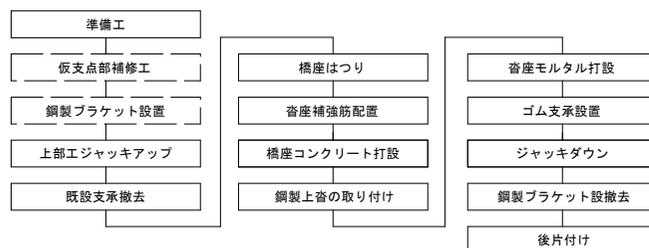
沓座詳細図



C-C

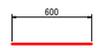


支保交換施工フロー



鉄筋質量表

記号	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	備考
H1	D16	600	56	1.56	0.936	52	
合計				D16		52 kg	
				総質量		52 kg	



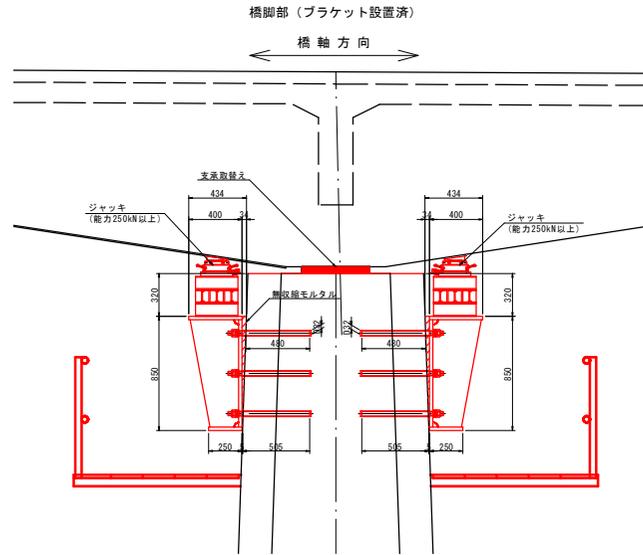
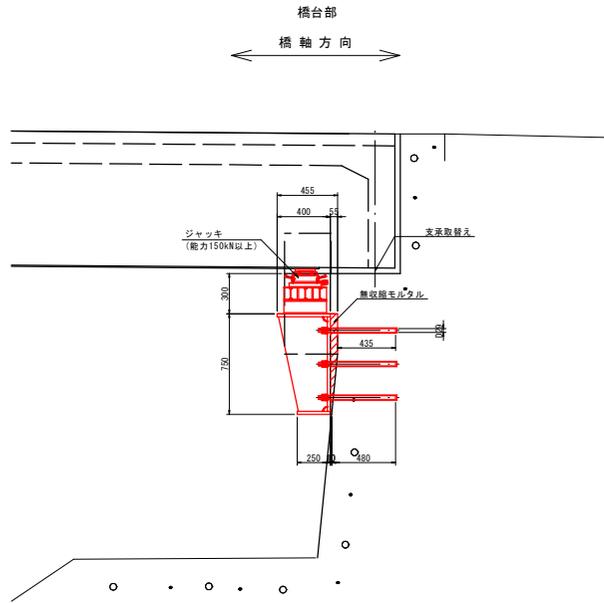
H1 56-D16 X 600

- 注) 1. 細部寸法は、現地調査実施の上、最終確認を行うこと。
2. 新設部と既設部との接合面には、既設側のチッピングを十分行うこと。
3. 既設部のコンクリート強度は、 $\sigma_{ck}=21N/mm^2$ である。
4. 新設部の鉄筋は、SD345としコンクリート強度は $\sigma_{ck}=24N/mm^2$ とする。

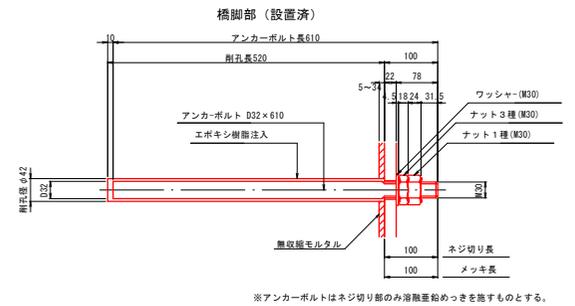
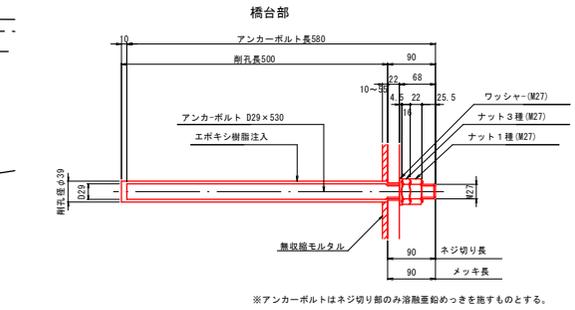
路線名	県道大栄赤碓線		
図名	県道大栄赤碓線(加勢蛇橋)橋梁補修工事(3工区)(補助)橋座改良詳細図(その7)		
位置	鳥取県琴浦町逢東～中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 26		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

ブラケット詳細図

側面図 S=1:20

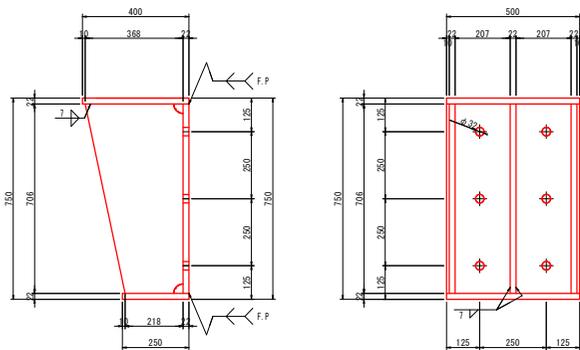


アンカーボルト・ナット (SD345) S=1:5

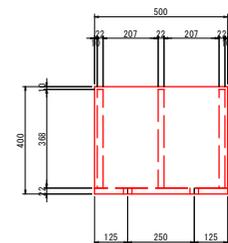


ブラケット (SM400A) S=1:10

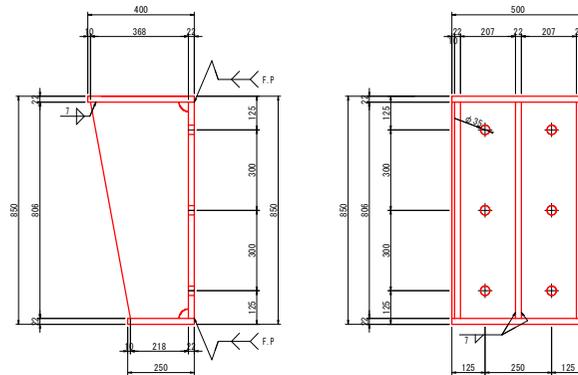
橋台部 (全4基/橋台)



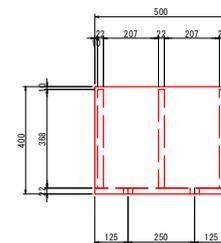
- 1基当たり
- 1-Basa PL 750x22x500 (SM400A)
 - 1-Fig PL 400x22x500 (SM400A)
 - 1-Fig PL 250x22x500 (SM400A)
 - 3-Rib PL 706x22x368 (SM400A) (Net:80%)
 - 6-Anc Bolt D29x580 (SD345)
 - 6-NUT M27用(1種,3種)
 - 6-Washer M27用



橋脚部 (全8基/橋脚) (設置済)



- 1基当たり
- 1-Basa PL 850x22x500 (SM400A)
 - 1-Fig PL 400x22x500 (SM400A)
 - 1-Fig PL 250x22x500 (SM400A)
 - 3-Rib PL 806x22x368 (SM400A) (Net:80%)
 - 6-Anc Bolt D32x610 (SD345)
 - 6-NUT M30用(1種,3種)
 - 6-Washer M30用



- 注記: 1) 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
 寸法を変更する場合は必要に応じて各種鋼材の応力計算を行うこと。
 2) 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切らないようにすること。
 3) 特記なきスカーラップは全てR35とすること。
 4) 鋼材の表面処理は、溶融垂れつき (JIS H 8641) とする。
 取付金具類の付着量はH277とし、ボルト・ナット類の付着量はH2749とする。
 5) 溶接記号 K <FPは完全溶け込み溶接を示す。

路線名	県道大赤赤碓線		
	県道大赤赤碓線(加勢蛇橋)橋梁補修工事(3工区)(補助)		
図名	ブラケット詳細図		
位置	鳥取県琴浦町逢東～中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 27		
令和 7 年度施行	鳥取県		
	鳥取県中部総合事務所県土整備局		

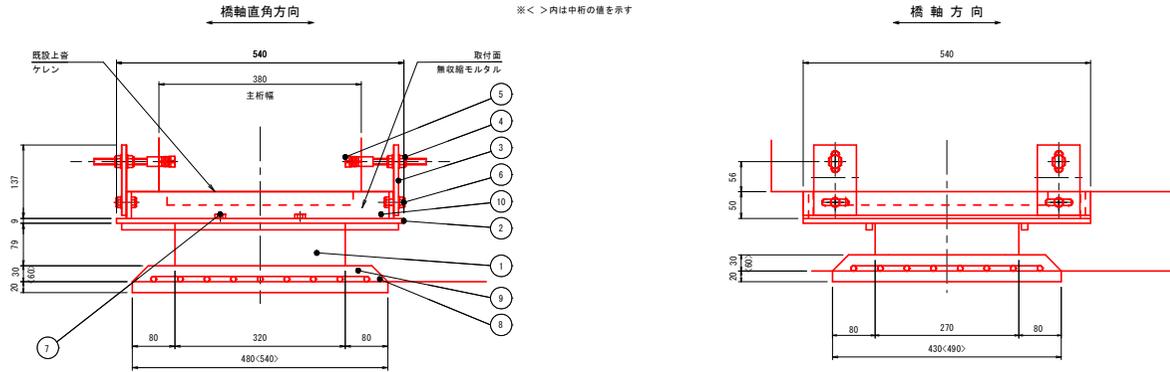
支承詳細図(その1)

S=1:5

(A1・A2)

組立図

※< >内は中折の値を示す



材 料 表 (1 支承当り)

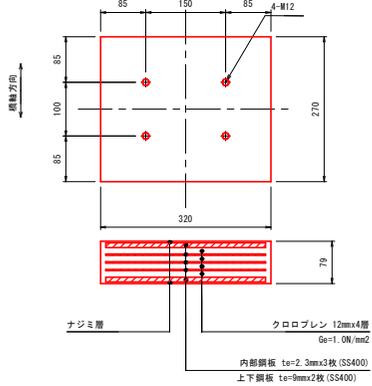
部番	名 称	材 質	個数	A1, A2数量 (kg)	備 考
1	ゴム支承	CR+SS400	1	21.7	CR
②	取付プレート1	SS400	1	28.9	
③	取付プレート2	SS400	4	2.7	
④	仮受ボルト	----	4	0.5	平座金付
5	コンクリートアンカー	----	4	0.4	
⑥	六角ボルト・ナット	----	4	0.2	平座金付
7	六角ボルト	----	4	0.1	
全質量				54.5	
部番	名 称	材 質	単位	数量	備 考
8	補強格子鉄筋	SD345又はSD295	kg	3.6	D10
9	寄座モルタル	無収縮モルタル	m ³	0.010(0.018)	
10	充填用モルタル	エポキシ樹脂	m ³	0.001	

※○印は、S G めつき仕様とする。

※質量は、参考質量とする。

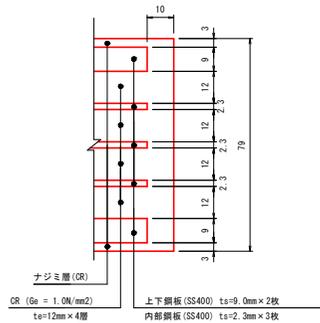
- ④ 仮受ボルト M12×120 強度区分 4.6又は4.8
平座金 16×30×3.2~10H
- ⑥ 六角ボルト M10×35 強度区分 4.6又は4.8
平座金 10×21×2.0~10H
- ⑦ 仮受ボルト M12×20 強度区分 4.6又は4.8

① ゴム支承 (CR+SS400)

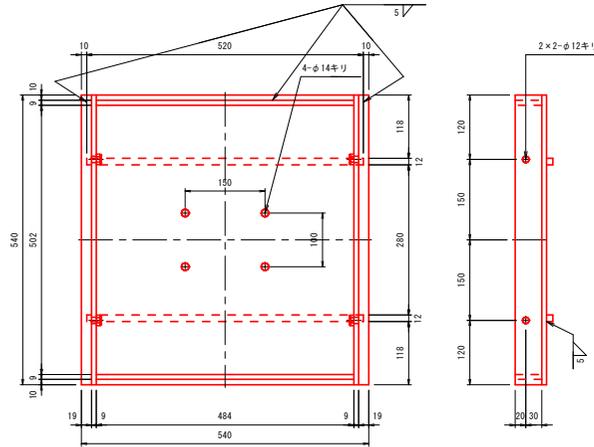


※ 片面にM12のタップ加工を施す。

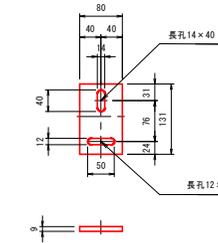
積層詳細図 S=1:1



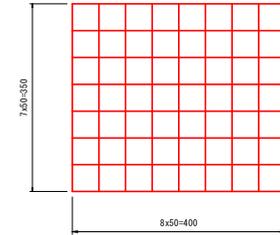
② 取付プレート1 (SS400)



③ 取付プレート2 (SS400)

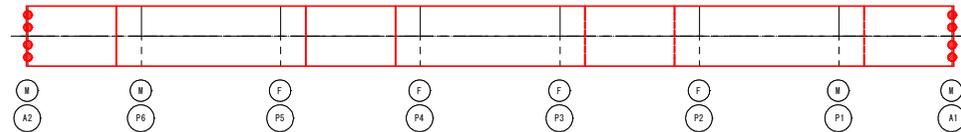


⑧ 補強格子鉄筋 (D10 SD345又はSD295)



- 注) 1. 実施工においては、再調査の上、図面整合等確認ののち、材料製作及び施工を行うこと。
- 2. 寄座面のはり時は、既設鉄筋を壊めないよう注意すること。
- 3. 既設上巻の凹隅の凸部は現場にて切断する。

配置図



路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線(加勢蛇橋)橋梁補修工事(3工区)(補助)		
図 名	支承詳細図(その1)		
位 置	鳥取県琴浦町逢東~中尾		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 35 葉中の内 28		
令 和	7 年度施行	鳥 取 県	
	鳥取県中部総合事務所県土整備局		

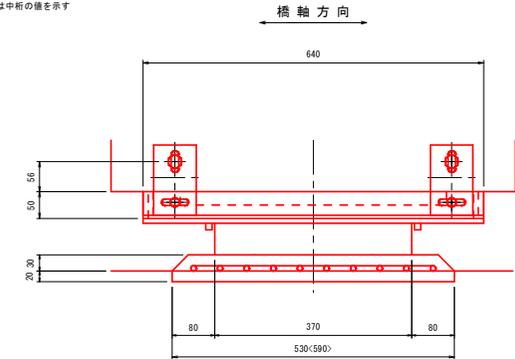
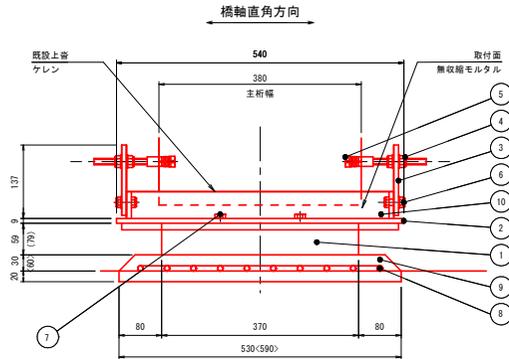
支承詳細図(その2)

S=1:5

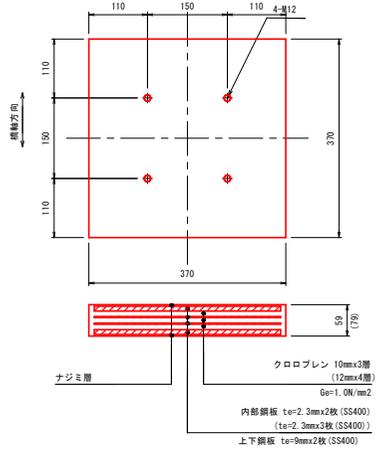
(P1・P3・P5)

組立図

※<>内は中桁の値を示す

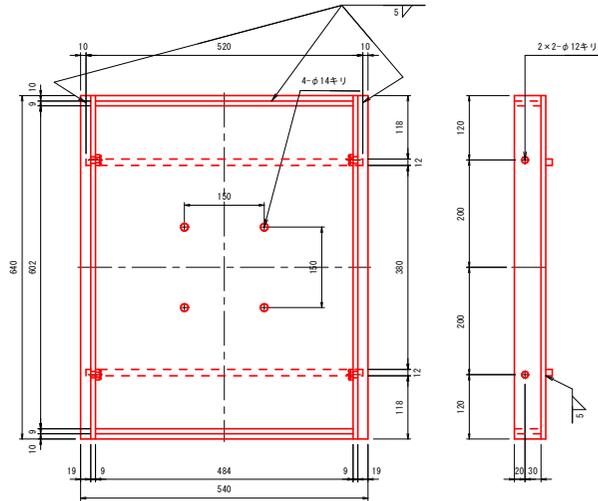


① ゴム支承 (CR+SS400)

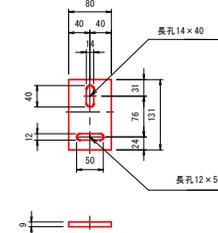


※ ()内数値はP1側を示す。
※ 片面にM12のタップ加工を施す。

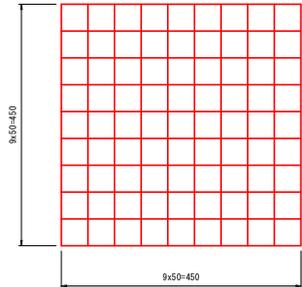
② 取付プレート1 (SS400)



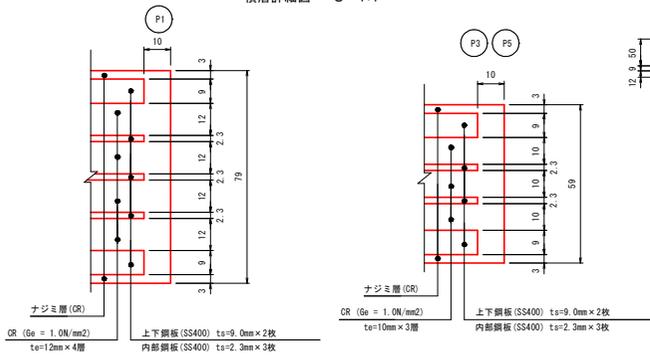
③ 取付プレート2 (SS400)



⑧ 補強格子鉄筋 (D10 SD345又はSD295)

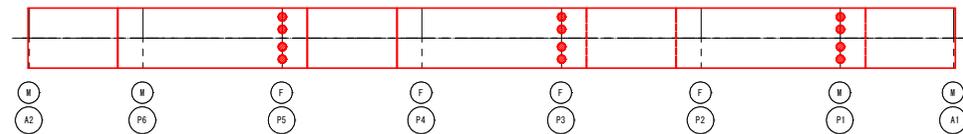


積層詳細図 S=1:1



注) 1. 実施工においては、再調査の上、図面適合等確認ののち、材料製作及び施工を行うこと。
2. 各断面のつり時は、既設鉄筋を構えないよう注意すること。
3. 既設上蓋の四隅の凸部は現場にて切断する。

配置図



材料表 (1支承当り)

部番	名称	材質	個数	P1質量(kg)	P3/P5質量(kg)	備考
1	ゴム支承	CR+SS400	1	35.1	29.5	CR
②	取付プレート1	SS400	1	33.4	33.4	
③	取付プレート2	SS400	4	2.7	2.7	
④	仮受ボルト	----	4	0.5	0.5	平座金付
5	コンクリートアンカー	----	4	0.4	0.4	
⑥	六角ボルト・ナット	----	4	0.2	0.2	平座金付
7	六角ボルト	----	4	0.1	0.1	
		全質量		72.4	66.8	
部番	名称	材質	単位	数量	数量	備考
8	補強格子鉄筋	SD345又はSD295	kg	5.1	5.1	D10
9	巻座モルタル	無収縮モルタル	m ³	0.013(0.024)	0.013(0.024)	
10	充填用モルタル	無収縮モルタル	m ³	0.002	0.002	

※O印は、S Gめっき仕様とする。
※質量は、参考量とする。

- ④ 仮受ボルト M12×120 強度区分 4.6又は4.8
平座金 16×30×3.2~10H
- ⑥ 六角ボルト M10×35 強度区分 4.6又は4.8
平座金 10×21×2.0~10H
- ⑦ 仮受ボルト M12×20 強度区分 4.6又は4.8

路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線(加勢蛇橋)橋梁補修工事(3工区)(補助)		
図名	支承詳細図(その2)		
位置	鳥取県琴浦町逢東~中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全35葉中の内29		
令和7年度施行	鳥取県		
	鳥取県中部総合事務所県土整備局		

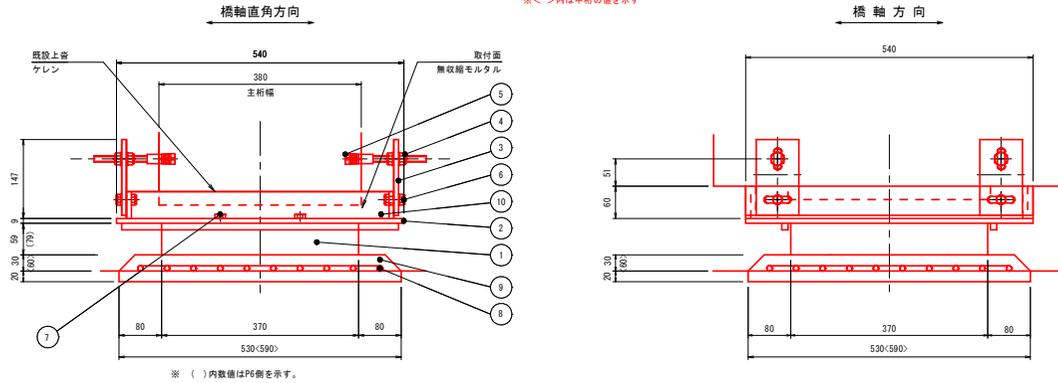
支承詳細図(その3)

S=1:5

(P2・P4・P6)

組立図

※< >内は中桁の値を示す



① ゴム支承 (CR+SS400)

② 取付プレート1 (SS400)

③ 取付プレート2 (SS400)

⑧ 補強格子鉄筋 (D10 SD345又はSD295)

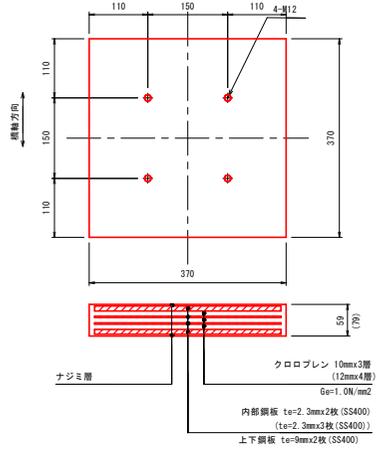
材料表 (1支承当り)

部番	名称	材質	個数	P2・P4質量(kg)	P6質量(kg)	備考
1	ゴム支承	CR+SS400	1	29.5	35.1	CR
②	取付プレート1	SS400	1	30.4	30.4	
③	取付プレート2	SS400	4	2.9	2.9	
④	仮受ボルト	----	4	0.5	0.5	平座金付
5	コンクリートアンカー	----	4	0.4	0.4	
⑥	六角ボルト・ナット	----	4	0.2	0.2	平座金付
7	六角ボルト	----	4	0.1	0.1	
			全質量	64.0	69.6	

部番	名称	材質	単位	数量	数量	備考
8	補強格子鉄筋	SD345又はSD295	kg	5.1	5.1	D10
9	容座モルタル	無収縮モルタル	m ³	0.028(0.056)	0.028(0.056)	
10	充填用モルタル	無収縮モルタル	m ³	0.002	0.002	

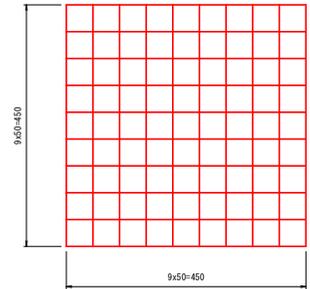
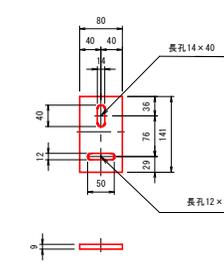
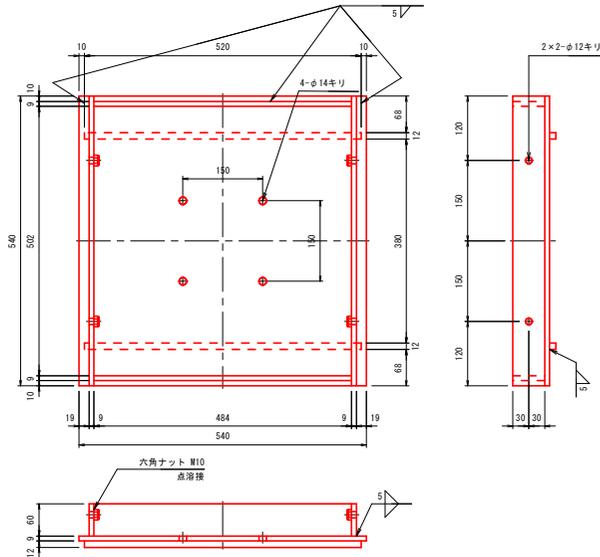
※○印は、S Gめっき仕様とする。
※質量は、参考質量とする。

- ④ 仮受ボルト M12×120 強度区分 4.6又は4.8
平座金 16×30×3.2~10H
- ⑥ 六角ボルト M10×35 強度区分 4.6又は4.8
平座金 10×21×2.0~10H
- ⑦ 仮受ボルト M12×20 強度区分 4.6又は4.8



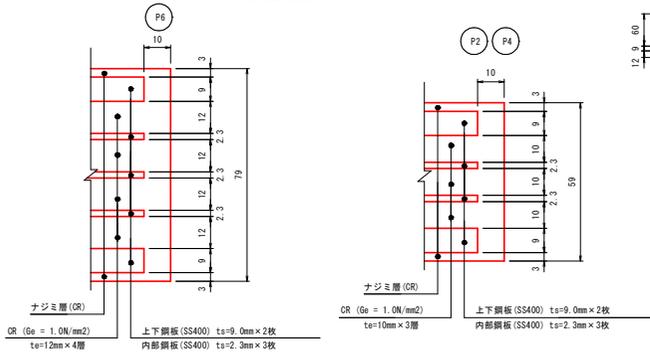
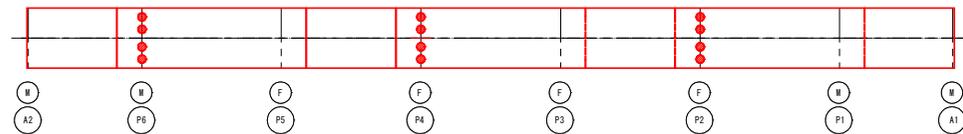
※ ()内数値はP6側を示す。
※ 片面にM12のタップ加工を施す。

積層詳細図 S=1:1



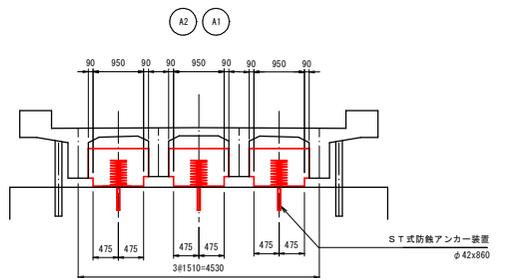
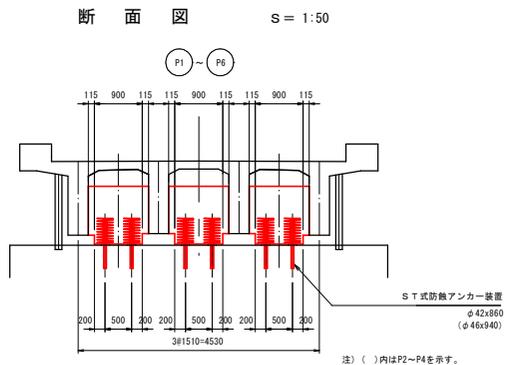
- 注) 1. 実施工においては、再調査の上、図面整合等確認ののち、材料製作及び施工を行うこと。
- 2. 容座面のはつり時は、既設鉄筋を傷めないよう注意すること。
- 3. 既設上蓋の凹部の凸部は現場にて切断する。

配置図

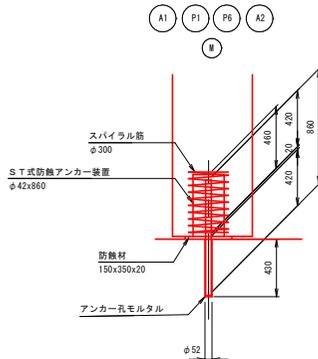
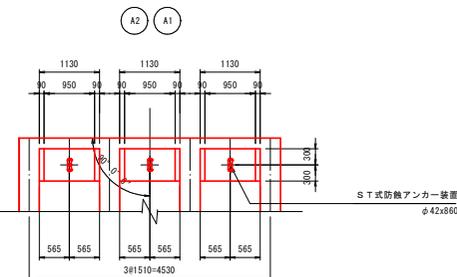
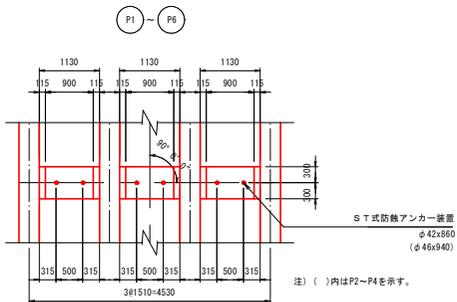


路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線(加勢蛇橋)橋梁補修工事(3工区)(補助)		
図名	支承詳細図(その3)		
位置	鳥取県琴浦町逢東~中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 30		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

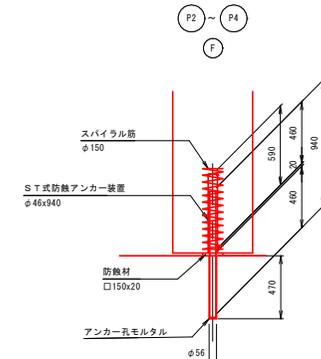
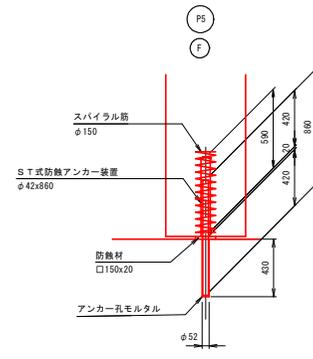
アンカー詳細図



平面図 S = 1:50

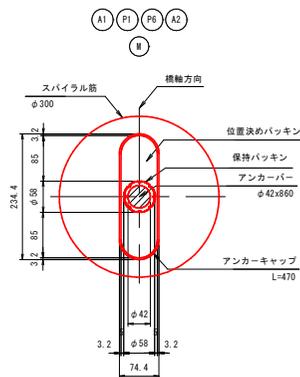


側面図 S = 1:20

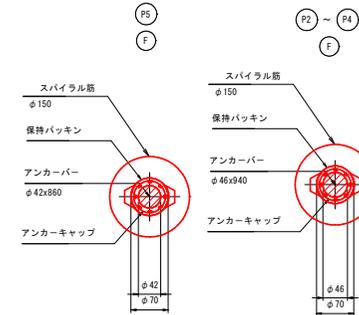
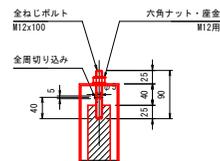


アンカーキャップ

S = 1:5



位置決めボルト取付図

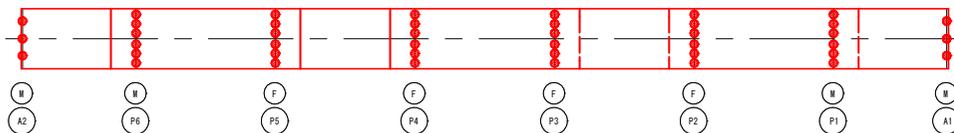


材料表

名称	寸法	材質	単位	数量							備考		
				A2	P6	P5	P4	P3	P2	P1		A1	合計
S T式防蝕アンカー装置	M42D	SDR 5000 08xキンシ 防食鋼 防食	本	3	6					6	3	18	ST-S6N12
"	F42D	SDR 5000 08xキンシ 防食鋼 防食	"			6						6	"
"	F46D	SDR 5000 08xキンシ 防食鋼 防食	"				6	6	6			18	"
防蝕材	150x350x20	深スポンジ	個	3	6					6	3	18	
"	□150x20	"	"			6	6	6	6			24	
アンカー孔モルタル		エポキシ樹脂	m ³	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.014	

※ 防蝕アンカーのアンカーバー本体はST-S6N12とし、可動側アンカーキャップは蓋締めとする。

配置図

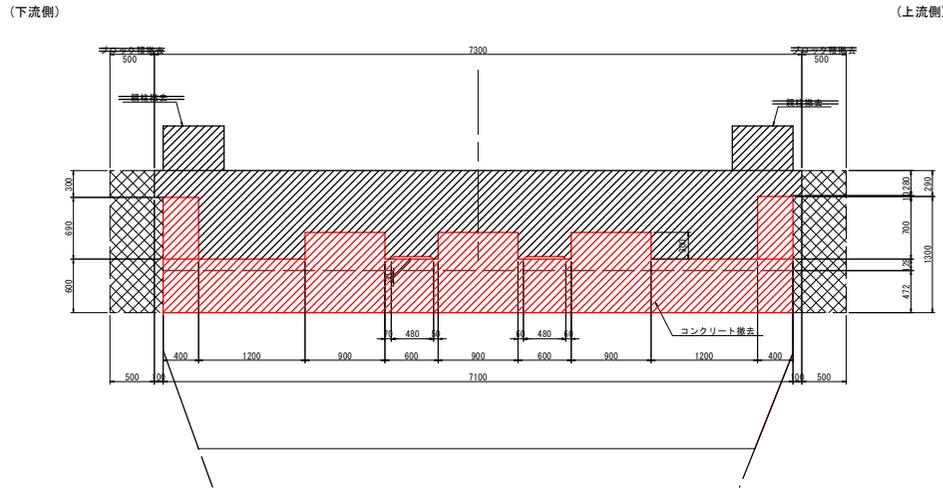


路線名	県道大栄赤碓線		
位置	県道大栄赤碓線(加勢蛇橋)橋梁補修工事(3工区)(補助)		
図名	アンカー詳細図		
位置	鳥取県琴浦町逢東~中尾	縮尺	図示
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 31		
令和 7 年度施行	鳥取県	鳥取県中部総合事務所県土整備局	

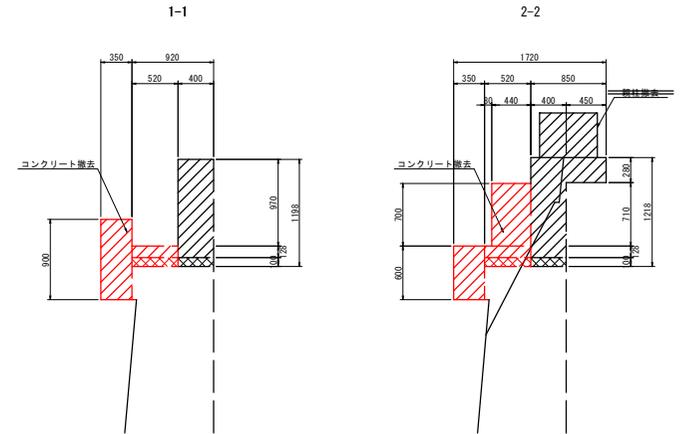
橋台パラペット・橋座撤去工図(その1)

A1橋台

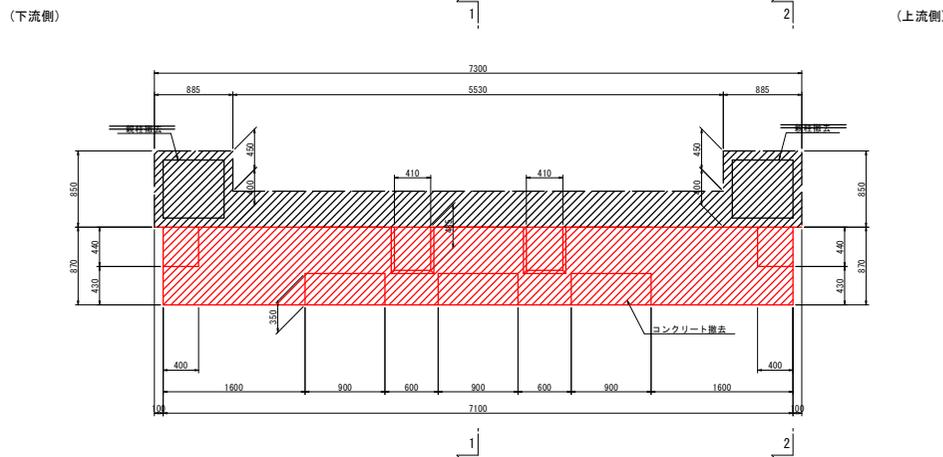
正面図 S=1:30



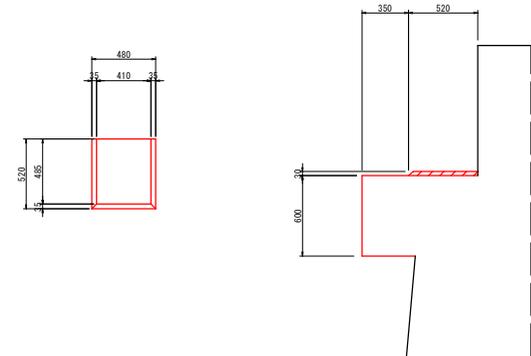
断面図



平面図 S=1:30



沓座モルタル撤去図



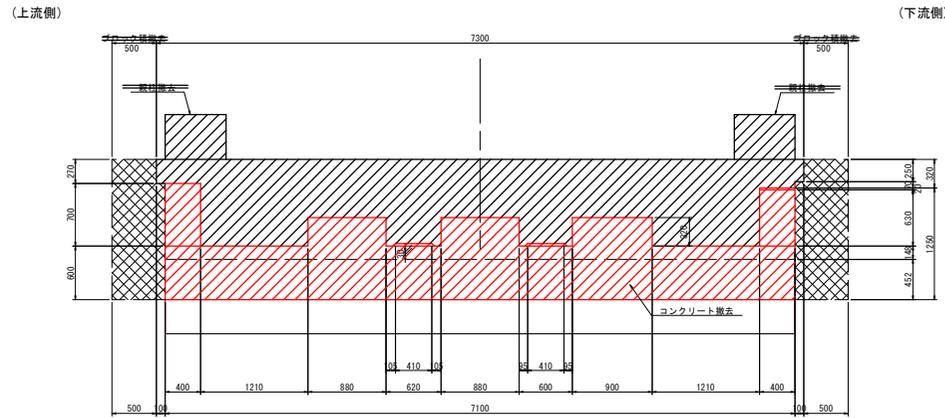
注) 1. 細部寸法は、現地調査実施の上、最終確認を行うこと。

路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線(加勢蛇橋)橋梁補修工事(3工区)(補助)		
図名	橋台パラペット・橋座撤去工図(その1)		
位置	鳥取県琴浦町逢東~中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 32		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

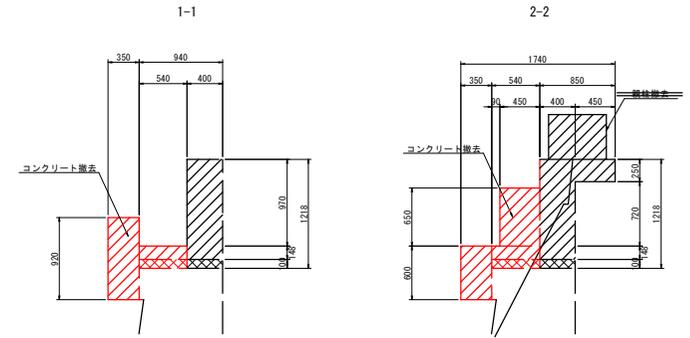
橋台パラペット・橋座撤去工図(その2)

A2橋台

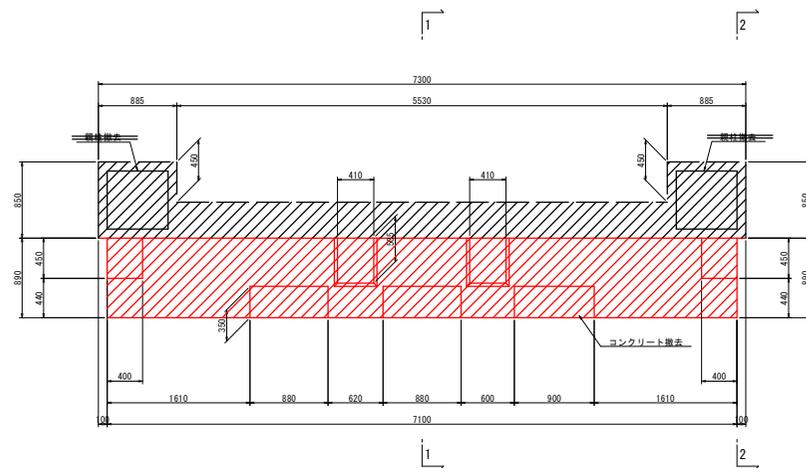
正面図 S=1:50



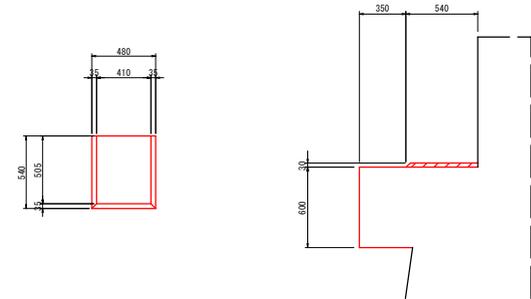
断面図



平面図 S=1:50



沓座モルタル撤去図

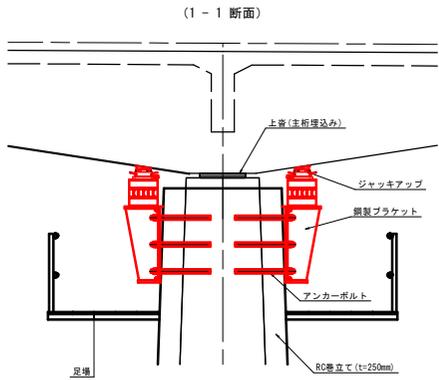


注) 1. 細部寸法は、現地調査実施の上、最終確認を行うこと。

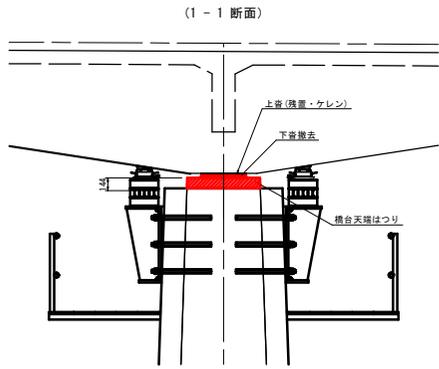
路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線(加勢蛇橋)橋梁補修工事(3工区)(補助)		
図名	橋台パラペット・橋座撤去工図(その2)		
位置	鳥取県琴浦町逢東~中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 33		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

橋脚部の施工

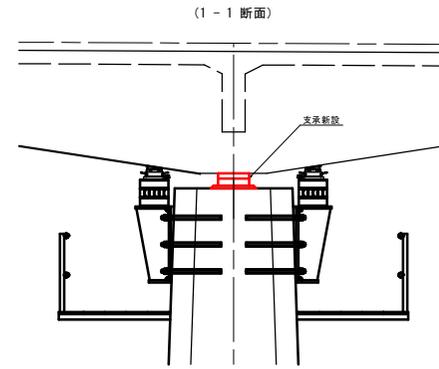
① プラケット設置(設置済)及びジャッキアップ



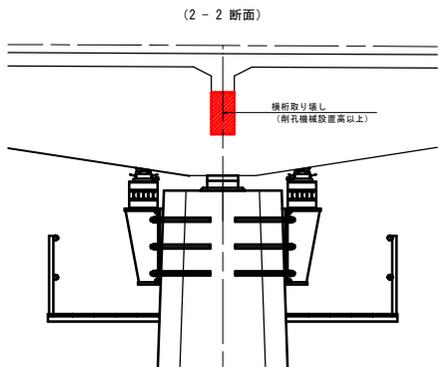
② 橋脚天端はつり及び下拵撤去



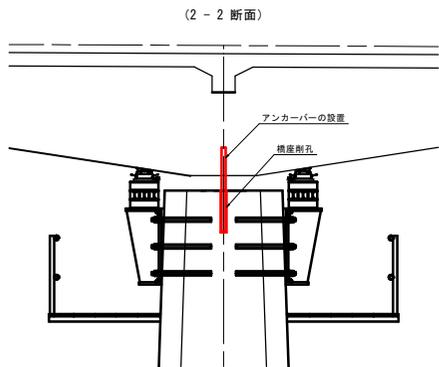
③ 新設支承の設置



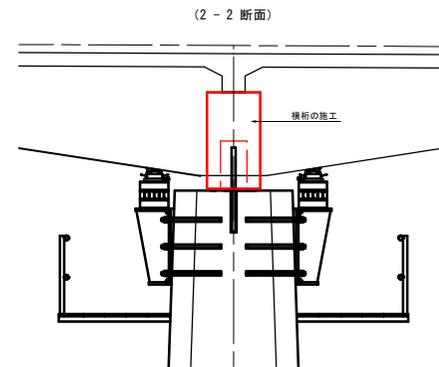
④ 横桁取り壊し



⑤ 橋座削孔、アンカーバーの設置

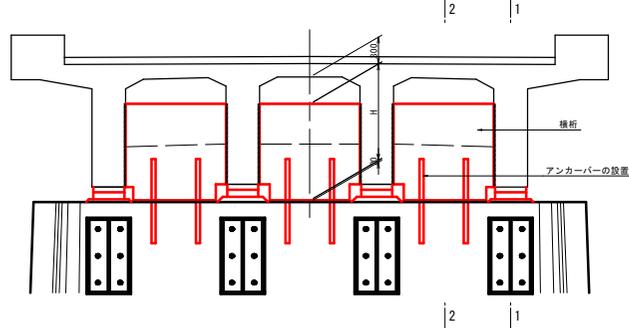


⑥ 横桁の施工



注) 横桁の施工後、鋼製プラケットは撤去する。
アンカーボルトは切断する。

正面図

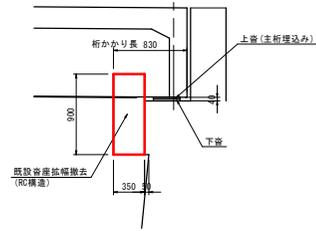


参考図

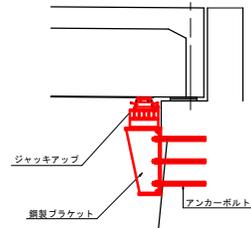
路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線(加勢蛇橋)橋梁補修工事(3工区)(補助)		
図名	支承施工要領図(その1)		
位置	鳥取県琴浦町逢東~中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 34		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			

橋台部の施工

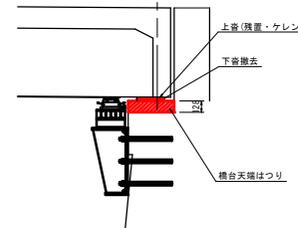
①既設拡幅部の撤去



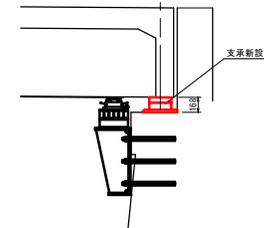
②ブラケット設置及びジャッキアップ



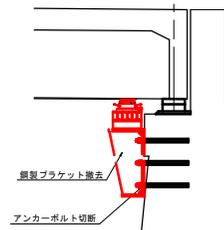
③橋台天端はつり及び下管撤去



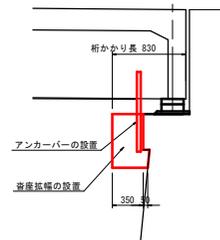
④新設支承の設置



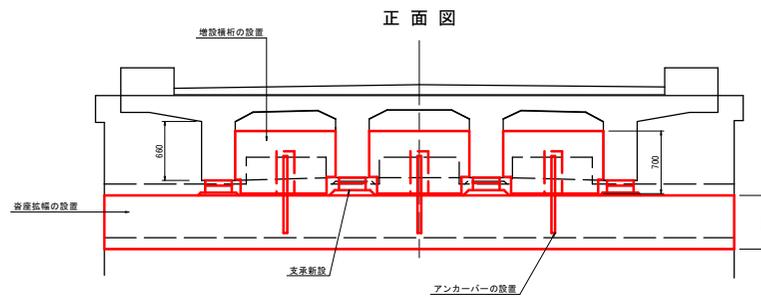
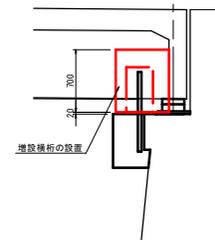
⑤ジャッキダウン、ブラケット撤去



⑥沓座拡幅部の設置及びアンカーバーの設置



⑦増設横桁の設置



参考図

路線名	県道大栄赤碓線		
	県道大栄赤碓線(加勢蛇橋)橋梁補修工事(3工区)(補助)		
図名	支承施工要領図(その2)		
位置	鳥取県琴浦町逢東～中尾		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 35 葉中の内 35		
令和 7 年度施行	鳥取県		
鳥取県中部総合事務所県土整備局			